

医と社会Ⅲ

責任者	氏名 (教室)	永田 康浩 (地域医療学)		
	電話番号	095-819-7046	e-mail	ynagata1961@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	16:30~17:30		

対象年次・学期	3年次・通年	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	2.5
科目英語名	Medicine and Society 3		

1. 授業の概要及び位置づけ

患者の立場に立った医療を行える医師を目指すために、診療所の体験を通して、患者との良好なコミュニケーションのとり方、患者の診察法、チーム医療の重要性を理解する。また、ワークライフバランスについて、仕事と生活の相乗効果を高める考え方を学ぶ。

2年次までは「病気を診るだけでなく病める人の心とおかれている社会・環境を洞察しうる医師となる」ことなどをめざして、主として医療従事者から見た講義・実習が行われてきた。3年次では、医療従事者でない立場の人から見た場合の、哲学・倫理・社会観・そこで提起される問題について、一緒に考えていく。我々がおかれている現代社会において、「何が正義か?」、「何に価値をおくべきか?」、「倫理観とはどうあるべきか?」といった根本的な哲学については、病気の診断・治療などの現場の対応に追われていると、社会背景を考慮しているようでも、しだいに見えなくなってゆくものである。

加えて、これまでなかなか触れる機会の少なかった歯学系分野についても学ぶ。

2. 授業到達目標

1. 自らの知識・能力を振り返り、新たな学習の必要性を認知して、信頼できる情報を得て、その後の学習や診療に活かすことができる。
2. 個々の事例が生命倫理・医療倫理上の問題であるか否かを判断・認識し、対応できる。
3. 患者の権利や医師の使命・義務・裁量権に基づいた判断ができる。
4. 個々及び組織全体の医療安全に配慮した行動ができる。
5. 医療の現場におけるコミュニケーションの重要性を理解し、信頼関係を確立できる。
6. 患者と医師の良好な関係を築くために、患者の個別的背景を理解し、問題点を把握することができる。
7. チーム医療の重要性を理解し、関連専門職との連携を図ることができる。
8. 患者本位の医療を実践できるように、適切な説明を行った上で主体的な同意を得るための対話能力を有し、適切な態度・思考ができる。

3. 授業内容 (講義・実習項目)

1) 実習

(1) 診療所体験実習

2) 講義(実習も含む)内容

(1) 患者とのコミュニケーション (2) 患者診察入門 (3) 介護・介助

(4) 多職種連携 (5) 地域医療 (6) ワークライフバランス

(7) 地域包括ケアシステム (8) 医療倫理分野 (9) 歯学系分野 (10) 薬害問題 (11)

国家行政

3) 体験討論・レポート作成

診療所等の体験について討論し、レポートを作成する。

4. 教科書・教材・参考書

適宜LACSに掲載またはプリントを配付する。

5. 成績評価の方法・基準等

実習状況、出欠状況などを総合して評価する。講義・実習にはすべて出席すること。打刻(打刻可能な講義室の場合)、その他の方法による出席確認、レポートなどの提出物がある場合の

提出期限までの提出・受理のどれが欠けても欠席とする。以上の基準で、授業回数の3分の1を超えて欠席した者は失格とする。

6. 事前・事後学修の内容

LACSに適宜掲載

7. 教員名

永田 康浩（地域医療学）、田中 邦彦（先端医育センター）、江川 亜希子（先端医育センター）、北山 素（先端医育センター）、濱崎 景子（IR室兼先端医育センター）、川尻 真也（医療人材連携教育センター）、野中 文陽（離島医療研究所）、本多 由起子（地域医療学）、井口 茂（保健学科）、平野 裕子（保健学科）、丸田 道夫（保健学科）、柳澤 沙也子（保健学科）、森内 剛史（保健学科）、吉松 昌子（歯学部）、田上 直美（歯学部）、吉村 篤利（歯学部）、前田 隆浩（総合診療科）、鎌田 昭江（第一内科）、溝上 淳子（学術情報部）、南 貴子（メディカルワークライフ バランスセンター）、高山 隼人（地域医療支援センター）、安武 亨（非常勤講師）、小川 さやか（長崎純心大学）、本田 美和子（国立病院機構東京医療センター、医長）、手嶋 無限（アイビー薬局）、小澤 竹俊（めぐみ在宅クリニック）、西澤 利夫（西澤国際特許事務所）、間宮 清（非常勤講師）、秋野 公造（参議院議員）、板井 孝壺郎（宮崎大学）、坂上 祐樹（平成医療福祉グループ）、秋葉 悦子（富山大学）、斐 英洙（ハイズ株式会社）、小椋 正之（厚生労働省医政局）、田川 康一（法務省福岡矯正管区）、迎 伸彦（法務省福岡矯正管区）

8. 備考

学外実習については、オリエンテーションを行うので実施要項に従う。

行動科学分野責任者：青柳 潔、有馬 和彦

リハビリテーション分野責任者：高島 英昭

9. ディプロマポリシー（レベルマトリクス）との対応

I. 倫理観とプロフェッショナリズム	B
II. 医学・医療に関する知識	C
III. 医療の実践	C
IV. コミュニケーション技能	B
V. 地域医療・社会医学	B
VI. 科学的探究	E

医と社会Ⅲ

(3年次・通年)

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座、教員	教室
4	7	金	4	地域包括	地域包括ケアにおける医療の役割	地域包括ケア教育センター 医療人材連携教育センター 永田 康浩	1講
4	7	金	5~6	地域包括	リハビリテーション総論	保健学科 井口 茂	1講
4	14	金	4~6	地域包括	ユマニチュードによるせん妄への関わり方	国立病院機構東京医療センター 本田 美和子	4講
4	20	木	1	未定	未定		3講
4	20	木	2	歯科疾患	う蝕について	歯学部 田上 直美	3講
4	20	木	3	知的財産権	知的財産権について知っておこう	西澤国際特許事務所 西澤 利夫	3講
4	21	金	1	地域包括	周術期口腔機能管理	口腔腫瘍治療学(口腔外科) 吉松 昌子	3講
4	21	金	2	歯科疾患	歯周病について	歯学部 吉村 篤利	3講
4	27	木	4	地域医療学	地域医療	衆議院議員 秋野 公造	3講
4	27	木	5	未定	未定		3講
5	12	金	1	未定	未定		3講
5	12	金	2	地域医療学	臨床とは違う医学について	平成医療福祉グループ 坂上 祐樹	3講
5	19	金	1~2	地域包括	苦しむ人への関わり方を学ぶ	めぐみ在宅クリニック 小澤 竹俊	4講
6	2	金	4~6	Early Exposure①	診療所実習 オリエンテーション	地域包括ケア教育センター 医療人材連携教育センター	2講
6	9	金	4~6	Early Exposure②	診療所実習 実習前半	地域包括ケア教育センター 医療人材連携教育センター	2講
6	13	火	4	矯正医療	矯正医療について	福岡矯正管区 福岡医事課 田川 康一、迎 伸彦	3講
6	14	水	2	地域医療学	長崎県の離島医療政策と医療支援	地域医療支援センター 高山 隼人	3講
6	16	金	4~6	Early Exposure③	診療所実習 実習後半	地域包括ケア教育センター 医療人材連携教育センター	2講
6	20	火	4	地域包括	地域における薬剤師の役割	アイビー薬局 手嶋 無限	4講
6	20	火	5	行動科学	行動変容・糖尿病	第一内科 鎌田 昭江	4講
6	20	火	6	行動科学	認知行動療法	長崎純心大学 小川 さやか	4講
6	23	金	4~6	Early Exposure④	診療所実習 振り返り	地域包括ケア教育センター 医療人材連携教育センター	2講
9	29	金	1~2	医歯共修 (前半)	技術系行政官としての業務 国民の健康な生活の確保に貢献するために	厚生労働省医政局 小椋 正之	記念講堂
9	29	金	3	医歯共修 (前半)	医療安全や医療の質管理	歯学部 田上 直美	記念講堂
10	20	金	1~6	ワークライフバランス	医師にとってのワークライフバランス	メディカルワークライフバランスセン	3講・4講
10	24	火	4	行動科学	動機付け面接	長崎純心大学 小川 さやか	4講
10	27	金	1	医歯共修 (後半)	医療安全:薬害問題(市販薬の薬害・サリドマイド)	間宮 清	記念講堂
10	27	金	2~3	医歯共修 (後半)	終末期医療における倫理と法 医師の職業倫理に立脚した法の形成に向けて	富山大学 秋葉 悦子	記念講堂
10	27	金	4	医歯共修 (後半)	普通の医・歯学生から抜け出するための医療マネジメント	ハイズ株式会社 斐 英珠	記念講堂
10	27	金	5~6	医歯共修 (後半)	医療倫理の基礎と実践 DNAR・終末期を中心に	宮崎大学 板井 孝老郎	記念講堂
11	10	金	4	社会人規範	ハラスメント	安武 亨	4講
11	21	火	4	生涯学習	医学系文献検索の方法 (中級)	附属図書館 医学分館 溝上 淳子	CBT室

呼吸器系

責任者	氏名 (教室)	迎 寛 (内科学第二 (呼吸器内科))		
	電話番号	095-819-7271	e-mail	hmukae@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	火曜日 9:00~17:00		

対象年次・学期	3年次・前期	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	1.5
科目英語名	Respiratory Diseases		

1. 授業の概要及び位置づけ

正常呼吸器系の解剖と生理、並びに画像評価の知識をもとに、各呼吸器系疾患の病態、診断、治療方法を理解する。

2. 授業到達目標

- (1) 正常呼吸器系の構造と機能を説明できる。
- (2) 各呼吸器疾患の病態について説明できる。
- (3) 各呼吸器疾患の診断について説明できる。
- (4) 各呼吸器疾患の治療について説明できる。

3. 授業内容 (講義・実習項目)

正常呼吸器系の構造・機能を基本として各疾患の病態について学ぶ。さらに、内科、外科、放射線、病理、薬理学的立場から疾患の症候、診断方法を理解し、疾患に応じた内科および外科的治療について学ぶ。

4. 教科書・教材・参考書

ガイドラインをふまえた成人市中肺炎診療の実際 河野 茂 編 医学書院 4,830円
 レジデントのための呼吸器疾患診療マニュアル (第2版) 河野 茂、早田 宏 編 医学書院 4,700円
 咳嗽・喀痰の診療ガイドライン2019 (委員長、迎 寛) 日本呼吸器学会 4,000円
 臨床腫瘍学 日本臨床腫瘍学会 編 癌と化学療法社 25,000円
 呼吸器外科テキスト 日本呼吸器外科学会 編 南江堂 13,000円
 新版：胸部単純X線診断 林 邦昭、中田 肇 編 秀潤社 4,800円
 胸部単純X線アトラス vol.1肺 芦澤 和人 編著 ベクトル・コア 4,500円
 胸部単純X線アトラス vol.2縦隔、胸膜他 芦澤 和人 編著 ベクトル・コア 4,300円
 困ったときの胸部の画像診断 芦澤 和人 編著 秀潤社 7,400円
 肺癌診療ガイドライン-悪性胸膜中皮腫・胸腺腫瘍含む-2022年版 日本肺癌学会 4,800円
 臨床呼吸器感染症学 迎 寛 編 南江堂 11,000円
 胸部X線診断再入門-症例から学ぶ読影法- 芦澤 和人、楠本 昌彦 編著 Gakken 6,490円

5. 成績評価の方法・基準等

定期考査を90%、アクティブラーニング(TBL5/2 5,6校時120分間、遅刻早退出席不鮮明は0点)は全体の10%として100点満点で評価する。正当な理由なく全授業時間(予備以外の48コマ)の3分の1を超えて欠席した場合(32コマ未満)は失格とする。定期考査は授業時間に応じて各分野(内科・外科・放射線科・病理・薬理学)から出題する。合計60点以上を合格とするが、各分野の得点が4割に満たない場合は不合格となる。再試験および健康上の都合などで理由ある本試験の欠席に対する追試験は一度のみで、その採点方法も本試験と同様とする。追試験不合格者に対する再試験は行わない。再試験及び追試験不合格者に対するレポートなどによる救済措置は行わない。

6. 事前・事後学修の内容

【準備学習】LACS上に事前に講義用スライドを掲載するので、あらかじめ目を通して講義の流れを把握しておくこと。(1h)

【復習】講義ノートおよびWeb上の資料により復習を行う。特に、講義中に出る練習問題については復習により、よく理解しておくこと。(1h)

7. 教員名

迎 寛（呼吸器内科）、福島 千鶴（呼吸器内科）、尾長谷 靖（呼吸器内科）、坂本 憲徳（呼吸器内科）、武田 和明（呼吸器内科）、石本 裕士（呼吸器内科）、岩永 直樹（呼吸器内科）、高園 貴弘（呼吸器内科）、行徳 宏（呼吸器内科）、伊藤 裕也（呼吸器内科）、城戸 貴志（呼吸器内科）、永安 武（腫瘍外科）、松本 桂太郎（腫瘍外科）、土肥 良一郎（腫瘍外科）、朝重 耕一（腫瘍外科）、泉川 公一（臨床感染症学）、芦澤 和人（臨床腫瘍学）、筒井 伸（放射線科）、竹本 真之輔（呼吸器内科）、福岡 順也（情報病理学）、松永 隼人（医科薬理学）、田中 伴典（非常勤講師・情報病理学）、藤本 淳也（非常勤講師・情報病理学）

8. 備考

特になし

9. ディプロマポリシー（レベルマトリクス）との対応

I. 倫理観とプロフェッショナリズム	A
II. 医学・医療に関する知識	S
III. 医療の実践	B
IV. コミュニケーション技能	B
V. 地域医療・社会医学	A
VI. 科学的探究	A

呼吸器系

(3年次・前期)

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座、教員	教室
4	5	水	1	呼吸器画像診断	画像診断総論(1)	臨床腫瘍学・芦澤 和人	1講
4	5	水	2	呼吸器腫瘍	放射線肺臓炎、胸膜と胸壁腫瘍、縦隔腫瘍	呼吸器内科・行徳 宏	1講
4	5	水	4	薬理 呼吸器系に作用する薬	喘息治療薬、COPD治療薬、鎮咳薬、去痰薬	医科薬理学 松永隼人	1講
4	5	水	5	病理	肺の感染症病理(講義)	病理診断科・福岡 順也	CBT
4	5	水	6	病理	肺の感染症病理(実習)	病理診断科・福岡 順也	CBT
4	10	月	1	呼吸器画像診断	画像診断総論(2)	臨床腫瘍学・芦澤 和人	1講
4	10	月	2	呼吸器画像診断	画像診断総論(3)	臨床腫瘍学・芦澤 和人	1講
4	10	月	3	呼吸器画像診断	画像診断各論(1)	臨床腫瘍学・芦澤 和人	1講
4	11	火	4	呼吸器腫瘍	分子標的薬・免疫チェックポイント阻害薬総論	呼吸器内科・竹本 真之輔	1講
4	11	火	5	呼吸器感染症	呼吸器感染症総論	臨床感染症学・泉川 公一	1講
4	11	火	6	びまん性肺疾患	びまん性肺疾患(1)	呼吸器内科・石本 裕士	1講
4	12	水	1	呼吸器外科	縦隔の外科(1)	腫瘍外科・朝重 耕一	3講
4	12	水	2	呼吸器外科	縦隔の外科(2)	腫瘍外科・朝重 耕一	3講
4	12	水	4	病理	間質性肺炎の病理(講義)	神戸大学・田中伴典	CBT
4	12	水	5	病理	間質性肺炎の病理(講義)	神戸大学・田中伴典	CBT
4	12	水	6	病理	間質性肺炎の病理(実習)	神戸大学・田中伴典	CBT
4	13	木	4	呼吸器外科	肺移植	腫瘍外科・永安 武	2講
4	13	木	5	病理	肺癌の病理(講義)	情報病理学・Kris Lami	CBT
4	13	木	6	病理	肺癌の病理(実習)	情報病理学・Kris Lami	CBT
4	17	月	1	呼吸器感染症	日和見感染症	呼吸器内科・武田 和明	3講
4	17	月	2	呼吸器感染症	気道感染症	呼吸器内科・高園 貴弘	3講
4	17	月	3	びまん性肺疾患	びまん性肺疾患(2)	呼吸器内科・城戸 貴志	3講
4	18	火	4	呼吸器感染症	院内肺炎、医療・介護関連肺炎	呼吸器内科・岩永 直樹	3講
4	18	火	5	呼吸器病学総論	構造と疾患	呼吸器内科・迎 寛	3講
4	18	火	6	びまん性肺疾患	特発性間質性肺炎	呼吸器内科・迎 寛	3講
4	19	水	1	放射線	画像診断各論(2)	臨床腫瘍学・芦澤 和人	3講
4	19	水	2	放射線	画像診断各論(3)	臨床腫瘍学・芦澤 和人	3講
4	20	木	4	病理	胸膜・縦隔の病理(レクチャー)	情報病理学・福岡順也	CBT
4	20	木	5	病理	胸膜・縦隔の病理(実習)	情報病理学・福岡順也	CBT
4	20	木	6	病理	肺におけるその他の腫瘍の病理(講義+実習)	情報病理学・福岡順也	CBT
4	24	月	1	呼吸生理	呼吸機能の評価	呼吸器内科・尾長谷 靖	3講
4	24	月	2	びまん性肺疾患	びまん性肺疾患(3)	呼吸器内科・坂本憲徳	3講
4	24	月	3	予備			3講
4	25	火	4	呼吸器外科	外科診断技術・術期管理・手術様式	腫瘍外科・松本桂太郎	3講

呼吸器系

(3年次・前期)

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座、教員	教室
4	25	火	5	呼吸器感染症	市中肺炎、肺化膿症	呼吸器内科・迎 寛	3講
4	25	火	6	呼吸器腫瘍	肺癌、良性腫瘍	呼吸器内科・竹本真之輔	3講
4	26	水	4	病理	肺癌における分子病理	MD Anderson Cancer Center・藤本淳也	調整中
4	26	水	5	病理	その他の肺疾患の病理（講義）	情報病理学・福岡順也	調整中
4	26	水	6	病理	その他の肺疾患の病理（実習）	情報病理学・福岡順也	調整中
4	27	木	1	アレルギー性肺疾患	気管支喘息	呼吸器内科・尾長谷 靖	3講
4	27	木	2	呼吸器外科	肺の外科（1）	腫瘍外科・永安 武	3講
4	27	木	3	呼吸器外科	肺の外科（2）	腫瘍外科・永安 武	3講
4	28	金	4	呼吸器外科	胸部外傷	腫瘍外科・土肥 良一郎	3講
4	28	金	5	閉塞性・職業性肺疾患	COPD、塵肺など	呼吸器内科・福島 千鶴	3講
4	28	金	6	呼吸器感染症	結核、非結核性抗酸菌症	呼吸器内科・伊藤 裕也	3講
5	1	月	1	呼吸器画像診断	画像診断各論（4）	臨床腫瘍学・芦澤 和人	3講
5	1	月	2	呼吸器画像診断	画像診断各論（5）	放射線科・筒井 伸	3講
5	1	月	3	呼吸器画像診断	画像診断まとめ	臨床腫瘍学・芦澤 和人	3講
5	2	火	4	アレルギー性肺疾患	好酸球性肺疾患/睡眠時無呼吸	呼吸器内科・尾長谷 靖	4講
5	2	火	5	TBL	まとめ	呼吸器内科・尾長谷 靖	4講
5	2	火	6	TBL	まとめ	呼吸器内科・尾長谷 靖	4講
5	10	水	1	予備			4講
5	10	水	2	予備			4講
5	11	木	4~6	試験			4講

内分泌・代謝・栄養系

責任者	氏名 (教室)	川上 純 (内科学第一)		
	電話番号	095-819-7260	e-mail	atsushik@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	8:00~9:00		

対象年次・学期	3年次・前期	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	1.5
科目英語名	Endocrinology and Metabolism		

1. 授業の概要及び位置づけ

授業概要及び位置づけ；内分泌・代謝・乳腺疾患の病因、病態生理、症状・所見、検査、画像、治療、薬理作用について理解する。

2. 授業到達目標

代表的な内分泌・代謝・乳腺疾患について病因、病態生理、症状・所見、検査、画像、治療、薬理作用について説明できる。

3. 授業内容（講義・実習項目）

内分泌学の基本であるホルモンは特異的な内分泌腺から分泌され、血流を介して各ホルモンに特異的受容体を有する標的細胞に作用する生理活性物質と定義されています。講義ではまず、総論としてすべてのホルモンに共通した概念、作用機序、分泌調節機序を理解してもらい、次に各論として代表的ホルモンを分泌する内分泌腺（視床下部下垂体、甲状腺、副甲状腺、副腎、性腺）別に、個々のホルモンの作用、分泌調節、さらに代表的な疾患（先端巨大症、尿崩症、バセドウ病、クッシング症候群など）および最近のトピックについて話を進める予定です。

代謝・栄養系として、栄養学ならびに糖代謝について基本的な概念を習得し、その上で、糖尿病、低血糖、高脂血症、肥満、痛風などの疾患を講義します。糖尿病はインスリン分泌および作用の不足の結果、高血糖を生じますが、慢性的な高血糖が持続しますと糖尿病に特有な腎症・網膜症・神経障害などの合併症を生じます。最初に、糖尿病の分類、診断、糖尿病合併症および糖尿病の治療について講義します。また、トピックとしていくつかの遺伝子異常による糖尿病や、新しい糖尿病治療薬などについてふれます。

高脂血症とは血中脂質（コレステロール、中性脂肪）が増加した状態であり、動脈硬化性疾患（心筋梗塞、狭心症）の主な危険因子です。まず最初にリポ蛋白代謝について説明し、次に高脂血症の分類、動脈硬化の発生機序、メタボリック症候群について講義します。

外科分野として、乳癌や乳腺良性疾患および甲状腺癌、バセドウ病、副甲状腺機能亢進症などの外科治療を中心に基礎的な知識や最新のトピックスについて触れていきます。また乳癌に関しては分子標的治療薬を含めた薬物療法についても講義します。

病理学的分野では、内分泌疾患を概説し、組織学的変化と病態との関係を説明し、病理診断学についても講義します。

放射線分野として、最初に、代表的な内分泌腺として、下垂体、甲状腺、副甲状腺、副腎の、CTおよびMRIにおける正常画像解剖を説明する予定です。さらに、下垂体腺腫、副甲状腺機能亢進症、骨粗鬆症、くる病/骨軟化症、副腎腺腫(クッシング症候群、原発性アルドステロン症)、褐色細胞腫、膵内分泌腫瘍について、典型的な画像所見を概説します。最後に、多発内分泌腫瘍症(Multiple endocrine neoplasia : MEN)についてふれます。

4. 教科書・教材・参考書

最新 内分泌代謝学 中尾 一和 編 診断と治療社 14, 000円

CECIL TEXTBOOK OF MEDICINE (25th ed) Lee Goldman, Andrew I. Schafer 他編 W.B. Saunders company

Harrison's PRINCIPLES of INTERNAL MEDICINE (19th ed) Fauci, Kasper, Longo, Braunwald 他編 Mc Graw-Hill

Williams textbook of Endocrinology (14th ed.) Melmed, Polnsky, Larsen 他編 Elsevier

標準外科学（第14版） 監修：畠山 勝義 医学書院
糖尿病学 門脇孝 ほか編 西村書店 12,000円
内分泌代謝科専門医研修ガイドブック 日本内分泌学会編 診断と治療社 9,800円

5. 成績評価の方法・基準等

定期考査 100%

内科、外科、放射線、病理、薬理の各分野を総合し、60点以上を合格とする。

ただし総合点が60点以上であっても、原則として臨床系分野（内科、外科、放射線科）と基礎系分野（病理、薬理）の二つに分類したそれぞれの得点が5割に満たない場合は、不合格とする。

6. 事前・事後学修の内容

教科書・参考図書にて予習しておくことが望ましい。

7. 教員名

堀江 一郎（第一内科）、赤澤 諭（第一内科）、池岡 俊幸（第一内科）、中嶋 遥美（第一内科）、重野 里代子（第一内科）、鎌田 昭江（糖尿病診療支援センター）、大坪 竜太（腫瘍外科）、森田 道（移植消化器外科）、高島 美和（栄養管理室）、山崎 浩則（佐世保市総合医療センター/長崎大学臨床教授）、古林 正和（保健センター）、山口 倫（病理部）、有賀 純（医科薬理）、藤田 和歌子（医科薬理）、中島 正洋（原研病理）、大木 望（放射線科）、阿比留 教生（医療法人緑風会みどりクリニック/長崎大学第一内科客員教授）、宇佐 俊郎（国際ヒバクシャ医療センター）、二里 哲朗（医療人材教育連携センター）

8. 備考

特になし

9. ディプロマポリシー（レベルマトリクス）との対応

I. 倫理観とプロフェッショナリズム	D
II. 医学・医療に関する知識	D
III. 医療の実践	D
IV. コミュニケーション技能	D
V. 地域医療・社会医学	E
VI. 科学的探究	E

内分泌・代謝・栄養系

(3年次 前期)

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座、教員	教室
5	15	月	1	脂質代謝異常1	リポ蛋白代謝・分類、治療	非常勤講師(佐世保市総合医療センター/長崎大学臨床教授) 山崎	3講
5	15	月	2	脂質代謝異常2	リポ蛋白代謝・分類、治療	非常勤講師(佐世保市総合医療センター/長崎大学臨床教授) 山崎	3講
5	15	月	3	肥満症と動脈硬化	成因・治療	非常勤講師(佐世保市総合医療センター/長崎大学臨床教授) 山崎	3講
5	17	水	1	代謝栄養学	糖代謝総論	非常勤講師(医療法人緑風会みどりクリニック/長崎大学第一内科客員教授) 阿比留	3講
5	17	水	2	代謝栄養学	糖尿病の分類と診断	糖尿病診療支援センター 鎌田	3講
5	18	木	1	内分泌学総論	ホルモン作用機序・疾患総論	第一内科 堀江	3講
5	18	木	2	視床下部・下垂体	下垂体前葉疾患	第一内科 堀江	3講
5	18	木	3	視床下部・下垂体	視床下部・下垂体後葉疾患	第一内科 堀江	3講
5	22	月	1	性腺	性腺機能異常症	第一内科 堀江	3講
5	22	月	2	甲状腺	甲状腺学総論	第一内科 中嶋	3講
5	24	水	1	甲状腺	甲状腺機能亢進症	第一内科 中嶋	3講
5	24	水	2	甲状腺	甲状腺機能低下症	第一内科 中嶋	3講
5	24	水	4	病理	視床下部・下垂体	原研病理 中島	3講
5	24	水	5	病理	甲状腺・副腎	原研病理 中島	3講
5	24	水	6	病理	消化器・糖尿病・その他	原研病理 中島	3講
5	26	金	1	副腎	副腎皮質疾患	第一内科 池岡	3講
5	26	金	2	副腎	副腎髄質疾患	第一内科 池岡	3講
5	31	水	1	甲状腺	甲状腺腫瘍	第一内科 重野	3講
5	31	水	2	核酸代謝	痛風・高尿酸血症	糖尿病診療支援センター 鎌田	3講
5	31	水	4	病理	実習	原研病理 中島	実1・実2
5	31	水	5	病理	実習	原研病理 中島	実1・実2
5	31	水	6	病理	実習	原研病理 中島	実1・実2
6	1	木	1	乳腺・内分泌外科	乳腺外科	移植消化器外科 森田	3講
6	1	木	2	乳腺・内分泌外科	乳腺外科	移植消化器外科 森田	3講
6	2	金	1	代謝栄養学	栄養学、ビタミン欠乏症	栄養管理室 高島/糖尿病診療支援センター 鎌田	3講
6	2	金	2	糖尿病	糖尿病治療 食事・運動療法	糖尿病診療支援センター 鎌田	3講
6	5	月	1	乳腺・内分泌外科	甲状腺外科	腫瘍外科 大坪	3講
6	5	月	2	乳腺・内分泌外科	甲状腺外科	腫瘍外科 大坪	3講
6	7	水	1	糖尿病	糖尿病昏睡・急性合併症	第一内科 赤澤	3講
6	7	水	2	代謝栄養学	その他の代謝異常	第一内科 赤澤	3講
6	7	水	4	病理	乳腺	病理部 山口(未定)	3講
6	7	水	5	病理	乳腺	病理部 山口(未定)	3講
6	7	水	6	病理	乳腺	病理部 山口(未定)	3講
6	9	金	1	カルシウム代謝	高・低カルシウム血症・代謝性骨疾患	第一内科 池岡	3講
6	9	金	2	糖尿病	糖尿病の慢性合併症	保健センター 古林	3講
6	12	月	1	糖尿病	低血糖症	第一内科 赤澤	3講
6	12	月	2	その他の内分泌疾患	消化管ホルモン、多発性内分泌腺腫症、多腺性自己免疫症候群	国際ヒバクシヤ医療センター 宇佐	3講
6	14	水	1	放射線・画像診断	代謝内分泌疾患の放射線・画像診断	放射線科 大木	3講
6	14	水	4	薬理	糖尿病治療薬	薬理学 有賀	3講
6	14	水	5	薬理	高脂血症・痛風治療薬	薬理学 有賀	3講
6	14	水	6	薬理	内分泌代謝疾患治療薬	薬理学 藤田	3講
6	16	金	1	糖尿病	糖尿病治療 経口血糖降下薬	医療人材教育連携センター 二里	3講
6	16	金	2	糖尿病	糖尿病治療 注射薬	医療人材教育連携センター 二里	3講
6	19	月	1	TBL	内分泌疾患	第一内科 中嶋	4講
6	19	月	2	TBL	内分泌疾患	第一内科 中嶋	4講
6	19	月	3	TBL	内分泌疾患	第一内科 中嶋	4講
6	21	水	1	TBL	糖尿病	第一内科 重野	4講
6	21	水	2	TBL	糖尿病	第一内科 重野	4講
6	22	木	4~6	試験			4講

消化器系

責任者	氏名 (教室)	中尾 一彦 (消化器内科学)		
	電話番号	095-819-7481	e-mail	kazuhiko@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	木曜日 9:00~12:00		

対象年次・学期	3年次・前期	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	2.5
科目英語名	Digestive disease		

1. 授業の概要及び位置づけ

消化器系は口腔・唾液腺に始まり、食道・胃・小腸・結腸・直腸・肛門に至る消化管系と肝臓、胆嚢、胆管、膵臓よりなる肝胆膵系に大別される。

2. 授業到達目標

消化器の病理、症状、検査、内科的消化器疾患、外科的消化器疾患、手術法などを統合包括的に把握し、消化器疾患における基礎的、臨床的な基本的知識を理解、修得する。

3. 授業内容 (講義・実習項目)

消化器系を消化管系と肝胆膵系に大別し、それぞれを病理学、内科学、外科学の順に講義を進行させる。

4. 教科書・教材・参考書

内科学書 (改訂第8版) 中山書店 31,320円

消化器内視鏡診断テキスト 第1巻:食道・胃・十二指腸 第2巻:小腸・大腸 文光堂 各9,180円

肝臓専門医テキスト 改訂第2版 日本肝臓病学会監修 南江堂 15,120円

消化器病診療 第2版 日本消化器病学会監修 医学書院 6,480円

5. 成績評価の方法・基準等

試験は病理、薬理、内科、外科、放射線科がそれぞれの担当時間数に応じて配分された点数をもって出題する。各科目の総点を100点として評価を行う。

ただし、総合点が60点以上であっても、各分野の得点が5割程度に満たない場合は不合格とする。

再試験は1回のみ行う。

6. 事前・事後学修の内容

教科書、配付資料を参照し、予習復習を行うこと。

7. 教員名

中尾 一彦 (消化器内科)、宮明 寿光 (消化器内科)、三馬 聡 (消化器内科)、中尾 康彦 (消化器内科)、本田 琢也 (消化器内科)、松島 加代子 (消化器内科)、小澤 栄介 (消化器内科)、北山 素 (消化器内科)、佐々木 龍 (消化器内科)、高橋 孝輔 (消化器内科)、田淵 真惟子 (消化器内科)、福島 真典 (消化器内科)、塩田 純也 (消化器内科)、山口 直之 (光学医療診察部)、橋口 慶一 (光学医療診察部)、赤司 太郎 (消化器内科)、野中 隆 (腫瘍外科)、富永 哲郎 (腫瘍外科)、原 貴信 (移植・消化器外科)、曾山 明彦 (移植・消化器外科)、松島 肇 (移植・消化器外科)、足立 智彦 (移植・消化器外科)、今村 一步 (移植・消化器外科)、小林 慎一郎 (移植・消化器外科)、石丸 英樹 (放射線科)、松永 隼人 (医科薬理)、中島 正洋 (原研病理)、上木 望 (原研病理)、岡野 慎士 (病理診断科・病理部)、黒濱 大和 (原研病理)、片瀬 直樹 (病理診断科・病理部 (口腔病理学))、八橋 寛 (長崎医療センター)、三浦 史郎 (長崎医療センター)

8. 備考

出欠チェックは1コマ毎に行う。出欠状況は成績に反映する。

9. ディプロマポリシー（レベルマトリクス）との対応

I. 倫理観とプロフェッショナリズム	C
II. 医学・医療に関する知識	B
III. 医療の実践	C
IV. コミュニケーション技能	C
V. 地域医療・社会医学	C
VI. 科学的探究	B

消化器系

(3年次 前期)

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座、教員	教室
5	12	金	4	肝胆膵外科①	肝疾患の外科	移植・消化器外科(肝胆膵班) 原 貴信	3講
5	12	金	5	肝胆膵外科②	肝疾患の外科(肝移植)	移植・消化器外科(肝胆膵班) 曾山明彦	3講
5	12	金	6	肝胆膵外科③	門脈・脾臓の外科	移植・消化器外科(肝胆膵班) 松島 肇	3講
5	15	月	4	肝胆膵外科④	膵疾患の外科(1)	移植・消化器外科(肝胆膵班) 足立智彦	3講
5	15	月	5	肝胆膵外科⑤	膵疾患の外科(2)	移植・消化器外科(肝胆膵班) 足立智彦	3講
5	15	月	6	肝胆膵外科⑥	胆道疾患の外科(1)	移植・消化器外科(肝胆膵班) 今村一步	3講
5	16	火	1	肝胆膵外科⑦	胆道疾患の外科(2)	移植・消化器外科(肝胆膵班) 今村一步	3講
5	16	火	2	消化管外科①	概念と疾患群	腫瘍外科 富永哲郎	3講
5	16	火	3	消化管外科②	腹壁・肛門の疾患	腫瘍外科 富永哲郎	3講
5	16	火	4	病理	食道(講義+実習)	原研病理・上木望	CBT
5	16	火	5	病理	食道(講義+実習)	原研病理・上木望	CBT
5	16	火	6	病理	食道(講義+実習)	原研病理・上木望	CBT
5	17	水	4	病理	胃腫瘍	長崎医療センター 三浦史郎	2講
5	17	水	5	病理	胃腫瘍	長崎医療センター 三浦史郎	2講
5	17	水	6	病理	胃腫瘍	長崎医療センター 三浦史郎	2講
5	18	木	4	消化管外科③	食道・胃・十二指腸①	移植・消化器外科(胃・食道班) 小林慎一郎	3講
5	18	木	5	消化管外科④	食道・胃・十二指腸②	移植・消化器外科(胃・食道班) 小林慎一郎	3講
5	18	木	6	消化管外科⑤	食道・胃・十二指腸③	移植・消化器外科(胃・食道班) 小林慎一郎	3講
5	19	金	4	消化管外科⑥	小腸・大腸1	腫瘍外科 野中 隆	3講
5	19	金	5	消化管外科⑦	小腸・大腸2	腫瘍外科 野中 隆	3講
5	19	金	6	上部消化管総論①	構造機能	北山素	3講
5	22	月	4	上部消化管総論②	症候	田淵 真椎子	3講
5	22	月	5	消化管内視鏡	検査と治療	山口直之	3講
5	22	月	6	消化管ホルモン	消化管ホルモン	消化器内科 塩田純也	3講
5	23	火	1	下部消化管総論①	構造機能	赤司太郎	3講
5	23	火	2	下部消化管総論②	症候、機能的疾患	赤司太郎	3講
5	23	火	3	食道疾患	先天異常、憩室、炎症、腫瘍	田淵 真椎子	3講
5	23	火	4	病理	胃腫瘍以外(講義+実習)	原研病理・黒濱大和	CBT
5	23	火	5	病理	胃腫瘍以外(講義+実習)	原研病理・黒濱大和	CBT
5	23	火	6	病理	胃腫瘍以外(講義+実習)	原研病理・黒濱大和	CBT
5	25	木	4	病理	十二指腸+唾液腺(講義+実習)	原研病理・黒濱大和	CBT
5	25	木	5	病理	十二指腸+唾液腺(講義+実習)	原研病理・黒濱大和	CBT
5	25	木	6	病理	十二指腸+唾液腺(講義+実習)	原研病理・黒濱大和	CBT
5	26	金	4	肝臓総論①	正常組織・生理機能	消化器内科 中尾一彦	3講
5	26	金	5	肝臓総論②	病態生理, 先天異常	消化器内科 中尾一彦	3講
5	26	金	6	代謝性疾患①	NASH, ASH	消化器内科 宮明寿光	3講
5	29	月	1	大腸炎症①	感染性腸炎	消化器内科 塩田純也	3講
5	29	月	2	大腸炎症②	炎症性腸疾患	消化器内科 松島 加代子	3講
5	29	月	3	病理	小腸・大腸(講義)	原研病理・中島正洋	3講
5	29	月	4	病理	小腸・大腸(講義)	原研病理・中島正洋	3講
5	29	月	5	病理	小腸・大腸(講義)	原研病理・中島正洋	3講
5	29	月	6	病理	小腸・大腸(講義)	原研病理・中島正洋	3講
5	30	火	1	胃十二指腸疾患①	胃十二指腸の炎症、潰瘍	消化器内科 橋口 慶一	3講
5	30	火	2	胃十二指腸疾患②	胃癌	消化器内科 橋口 慶一	3講
5	30	火	3	胃十二指腸疾患③	その他の疾患	消化器内科 北山素	3講
5	30	火	4	病理	小腸・大腸(実習)	原研病理・中島正洋	CBT

消化器系

(3年次 前期)

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座、教員	教室
5	30	火	5	病理	小腸・大腸(実習)	原研病理・中島正洋	CBT
5	30	火	6	病理	小腸・大腸(実習)	原研病理・中島正洋	CBT
6	1	木	4	病理	肝・胆・膵(講義+実習)	病理学・岡野慎士	2講
6	1	木	5	病理	肝・胆・膵(講義+実習)	病理学・岡野慎士	2講
6	1	木	6	病理	肝・胆・膵(講義+実習)	病理学・岡野慎士	2講
6	5	月	4	大腸腫瘍①	ポリープ、ポリポーシスなど	消化器内科 山口直之	3講
6	5	月	5	大腸腫瘍②	大腸癌	消化器内科 山口直之	3講
6	6	火	1	全身性疾患と消化管	全身性疾患と消化管	消化器内科 橋口 慶一	3講
6	6	火	2	大腸腫瘍③	その他の疾患	消化器内科 北山素	3講
6	6	火	3	小腸疾患	小腸疾患、吸収不良症候群、蛋白漏出胃腸症	消化器内科 松島 加代子	3講
6	6	火	4	病理	肝・胆・膵(講義+実習)	病理学・岡野慎士	2講
6	6	火	5	病理	肝・胆・膵(講義+実習)	病理学・岡野慎士	2講
6	6	火	6	病理	肝・胆・膵(講義+実習)	病理学・岡野慎士	2講
6	8	木	1	肝硬変	肝硬変、静脈瘤	消化器内科 三馬聡	3講
6	8	木	2	肝不全	肝不全、非硬変性門亢症	消化器内科 三馬聡	3講
6	8	木	3	代謝性疾患②	薬剤性肝障害	消化器内科 宮明寿光	3講
6	8	木	4	病理	肝・胆・膵(講義+実習)	病理学・岡野慎士	2講
6	8	木	5	病理	肝・胆・膵(講義+実習)	病理学・岡野慎士	2講
6	8	木	6	病理	肝・胆・膵(講義+実習)	病理学・岡野慎士	2講
6	12	月	4	肝臓の腫瘍①	肝細胞癌	消化器内科 佐々木龍	3講
6	12	月	5	自己免疫疾患疾患①	自己免疫性肝炎、原発性胆汁性胆管炎	消化器内科 福島真典	3講
6	12	月	6	自己免疫疾患疾患②	その他の疾患肝疾患(D型、E型、肝寄生虫)	消化器内科 福島真典	3講
6	13	火	1	肝臓の腫瘍②	胆管細胞癌	消化器内科 佐々木龍	3講
6	13	火	2	肝腫瘍③	その他の肝腫瘍	消化器内科 佐々木龍	3講
6	13	火	3	胆膵疾患①	主要症候	消化器内科 小澤栄介	3講
6	13	火	5	放射線	消化器(主に肝・胆道・膵領域)の画像診断	放射線科 石丸英樹	オンデマンド
6	13	火	6	(薬理)消化器系に作用	潰瘍、機能的消化管障害、腸疾患、肝疾患治療薬など	医科薬理学、松永隼人	3講
6	15	木	1	胆膵疾患④	胆道系、膵臓の炎症、その他の疾患	消化器内科 高橋孝輔	3講
6	15	木	2	化学療法①	消化管癌の化学療法	消化器内科 本田琢也	3講
6	15	木	3	化学療法②	胆膵癌の化学療法	消化器内科 本田琢也	3講
6	15	木	4	病理	口腔病理	病理診断科・病理部(口腔病理学)	2講
6	15	木	5	病理	口腔病理	病理診断科・病理部(口腔病理学)	2講
6	15	木	6	病理	口腔病理	病理診断科・病理部(口腔病理学)	2講
6	19	月	4	特別講義	肝炎①	長崎医療センター 八橋弘	4講
6	19	月	5	特別講義	肝炎②	長崎医療センター 八橋弘	4講
6	19	月	6	特別講義	肝炎③	長崎医療センター 八橋弘	4講
6	20	火	1	TBL		消化器内科 橋口慶一、北山素、田淵真椎子、赤司太郎、塩田純也	4講
6	20	火	2	TBL		消化器内科 橋口慶一、北山素、田淵真椎子、赤司太郎、塩田純也	4講
6	20	火	3	TBL		消化器内科 橋口慶一、北山素、田淵真椎子、赤司太郎、塩田純也	4講
6	23	金	1	胆膵疾患②	検査と治療	消化器内科 小澤栄介	4講
6	23	金	2	胆膵疾患③	悪性腫瘍	消化器内科 小澤栄介	4講
6	26	月	1	TBL		消化器内科 佐々木龍、福島真典、高橋孝輔、中尾康彦	4講
6	26	月	2	TBL		消化器内科 佐々木龍、福島真典、高橋孝輔、中尾康彦	4講
6	26	月	3	TBL		消化器内科 佐々木龍、福島真典、高橋孝輔、中尾康彦	4講
6	27	火	4~6	試験			4講

運動系

責任者	氏名 (教室)	尾崎 誠 (整形外科 (構造病態整形外科))		
	電話番号	095-819-7321	e-mail	mosaki@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	17:00~18:00		

対象年次・学期	3年次・前期	講義形態	講義
必修・選択	必修	単位数	2.5
科目英語名	Musculo-skeletal system, lecture		

1. 授業の概要及び位置づけ

四肢、脊椎、顔面等の運動器では、炎症、変性、腫瘍、外傷、先天異常、代謝疾患、血行障害など数多くの疾患が生じる可能性を含んでいる。これらの疾患を理解するためには、骨・関節系統のみならず神経・筋系統の広範な領域にわたる正常の機能を把握する必要がある。これらの疾患の治療目的は、生命の維持と疾患の予防ならびに機能確保・機能再建である。

2. 授業到達目標

運動器疾患の基礎となる骨・関節・筋・神経の生理・代謝・構造を理解する。種々の検査法を含めた診断学、さらに治療学の概略ならびに各部位別の疾患とその治療法を理解する。急性疾患における適切な救急処置を理解する。

3. 授業内容 (講義・実習項目)

主にプリントとスライドによる講義である。

4. 教科書・教材・参考書

標準整形外科学 第14版 井樋 栄二・吉川 秀樹ほか 医学書院 10,340円
 標準形成外科学 第7版 平林慎一監修 鈴木茂彦・岡崎 睦編集 医学書院 6,380円
 TEXT形成外科学 第3版 波利井清紀監修 中塚貴志・亀井 譲編集 南山堂 6,600円

5. 成績評価の方法・基準等

筆記試験 (出題範囲は講義内容と上記教科書)。

評価には出席日数を考慮する。

本論、放射線、病理の各分野を総合し、おおむね60点以上を合格とする。

ただし、総合点が60点以上であっても、各分野の得点が3割程度に満たない場合は不合格とする。

再試験は原則として1回のみ行う。

6. 事前・事後学修の内容

解剖学、生理学、生化学等の基礎的知識を整理しておくこと。

7. 教員名

尾崎 誠 (整形外科)、辻本 律 (整形外科)、松林 昌平 (整形外科)、梶山 史郎 (整形外科)、千葉 恒 (整形外科)、野村 賢太郎 (整形外科)、小林 恭介 (整形外科)、白石和輝 (整形外科)、横田 和明 (整形外科)、三溝 和貴 (整形外科)、西 亜紀 (整形外科)、米倉 暁彦 (スポーツ医学診療センター)、中添 悠介 (スポーツ医学診療センター)、西 紘太郎 (スポーツ医学診療センター)、青木 龍克 (スポーツ医学診療センター)、田口 憲士 (外傷センター)、土居 満 (外傷センター)、西野 雄一郎 (外傷センター)、田中 克己 (形成外科)、西條 広人 (形成外科)、岩尾 敦彦 (形成外科)、岡野 慎士 (病理診断科・病理部)、小田 義直 (九州大学)、宮本 俊之 (長崎県医療センター)

8. 備考

特になし

9. ディプロマポリシー（レベルマトリクス）との対応

I. 倫理観とプロフェッショナリズム	A
II. 医学・医療に関する知識	A
III. 医療の実践	B
IV. コミュニケーション技能	B
V. 地域医療・社会医学	B
VI. 科学的探究	A

運動系

(3年次・前期)

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座、教員	教室
6	29	木	1	運動系総論(1)	総論・歴史	整形外科・尾崎 誠	3講
6	29	木	2	運動系総論(2)	診断学・治療学	整形外科・辻本 律	3講
6	29	木	3	上肢の疾患(1)	上肢の疾患	整形外科・辻本 律	3講
6	30	金	4	腫瘍性疾患(1)	骨軟部腫瘍総論	整形外科・野村賢太郎	4講
6	30	金	5	腫瘍性疾患(2)	骨軟部腫瘍各論(1)	整形外科・野村賢太郎	4講
6	30	金	6	腫瘍性疾患(3)	骨軟部腫瘍各論(2)	整形外科・野村賢太郎	4講
7	3	月	1	脊椎(1)	脊椎(1)	整形外科・三溝和貴	4講
7	3	月	2	脊椎(2)	脊椎(2)	整形外科・三溝和貴	4講
7	3	月	3	脊椎(3)	脊椎(3)	整形外科・三溝和貴	4講
7	4	火	1	骨・関節の外傷(1)	外傷各論(成人外傷)	外傷センター・田口憲士	1講
7	4	火	2	骨・関節の外傷(2)	外傷各論(小児外傷)	外傷センター・西野雄一朗	1講
7	4	火	3	骨・関節の外傷(3)	外傷総論	(長崎医療センター) 宮本俊之	1講
7	5	水	5	病理	運動系病理	(九州大学) 小田義直	3講
7	5	水	6	病理	運動系病理	(九州大学) 小田義直	3講
7	6	木	1	スポーツ医学(1)	スポーツ医学各論(1)上肢のスポーツ傷害	スポーツ医学診療センター 梶山史郎	3講
7	6	木	2	上肢の疾患(2)	肘関節	整形外科・梶山史郎	3講
7	6	木	3	骨・関節の外傷(4)	外傷各論(高齢者外傷)	外傷センター・土居 満	3講
7	7	金	4	手の外傷	手の機能解剖と診断・治療	形成外科・田中克己	3講
7	7	金	5	上肢の疾患(3)	肩関節	整形外科・青木龍克	3講
7	7	金	6	スポーツ医学(2)	スポーツ医学総論	スポーツ医学診療センター 米倉暁彦	3講
7	10	月	1	顔面外傷	顔面外傷総論:軟部組織損傷・顔面骨骨折	形成外科・西條広人	1講
7	10	月	2	再建外科	四肢組織欠損に対する機能・整容再建	形成外科・岩尾敦彦	1講
7	10	月	3	運動系総論(3)	骨・軟骨の構造と生理	整形外科・白石和輝	1講
7	11	火	4	病理	運動系病理	病理学、岡野慎士	3講
7	13	木	5	放射線	骨関節疾患における画像診断の基本	放射線科・上谷雅孝	3講
7	13	木	6	放射線	骨腫瘍のX線診断	放射線科・上谷雅孝	3講
7	14	金	4	脊椎(4)	脊椎(4)	整形外科・横田和明	3講
7	14	金	5	脊椎(5)	脊椎(5)	整形外科・横田和明	3講
7	14	金	6	炎症性疾患(1)	骨・関節の感染症	整形外科・中添悠介	3講
7	18	火	4	炎症性疾患(2)	関節リウマチ・リウマチ類似疾患	整形外科・千葉 恒	3講
7	18	火	5	スポーツ医学(3)	スポーツ医学各論(1)下肢のスポーツ傷害	スポーツ医学診療センター 米倉暁彦	3講
7	18	火	6	下肢の疾患(1)	膝関節・足関節・足趾	整形外科・米倉暁彦	3講
7	19	水	1	下肢の疾患(2)	股関節(1)	整形外科・小林恭介	3講
7	19	水	2	下肢の疾患(3)	股関節(2)	整形外科・小林恭介	3講
7	20	木	1	下肢の疾患(4)	股関節(3)(小児)	整形外科・松林昌平	3講
7	20	木	2	リハビリテーション(1)	リハビリテーション総論	整形外科・松林昌平	3講
7	20	木	3	リハビリテーション(2)	リハビリテーション各論	整形外科・松林昌平	3講
7	21	金	4	TBL		整形外科・青木龍克	4講
7	21	金	5	TBL		整形外科・西紘太郎	4講
7	21	金	6	TBL		整形外科・西 亜紀	4講
7	25	火	4~6	試験			4講

腎泌尿器系

責任者	氏名 (教室)	西野友哉 (腎臓内科)		
	電話番号	095-819-7282	e-mail	tnisino@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	火曜日 16:00~17:00		

対象年次・学期	3年次・前期	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	1.5
科目英語名	Nephro-urology		

1. 授業の概要及び位置づけ

小児や成人における腎・尿路系疾患の病態、診断および治療を理解する。

2. 授業到達目標

- 1) 腎・泌尿器の構造と機能を理解し、異常所見を識別できる—特に腎の生理と排尿の生理を理解することが重要である。
- 2) 腎・泌尿器系疾患の主要症候を理解し、鑑別疾患を挙げることができる。
- 3) 腎・泌尿器系の検査法を理解し、診断へ応用できる。
- 4) 腎・泌尿器科の病理検査を理解し、治療法選択や予後との関連を説明できる。
- 5) 各疾患の治療法を概説できる。また、小児と成人の差違、内科的あるいは外科的治療の差違について説明できる。

3. 授業内容 (講義・実習項目)

体液の恒常性維持における腎の機能について学び、腎・泌尿器系疾患の病態、症候、検査、診断および治療について系統的に講義する。その検査法には、放射線学的、病理学的な方法も含まれる。この系で学ぶ主要な疾患は、腎不全、糸球体疾患、ネフローゼ症候群、尿細管間質病変、高血圧・腎血管病変、全身性疾患に合併した腎病変、小児の腎疾患、外科的処置が必要な腎・尿路系疾患 (腫瘍、結石、外傷)、排尿障害、尿路感染症である。

4. 教科書・教材・参考書

NEWエッセンシャル腎臓内科学第2版 富野 康日己 編 医歯薬出版 6,820円

ダイナミックメディスン6巻 下条 文武・斉藤 康 西村書店 3,800円

講義録 泌尿器科学 荒井 陽一 小川 修 編 メジカルビュー 6,000円

Smith's General Urology Emil Tanagho Lange 8,000円

病気が見える腎・泌尿器 MEDIC MEDIA 3,740円

Renal disease: classification and atlas of glomerular disease. Churg/Bernstain/ Glasscock IGAKU/SHOIN 23,900円

小児腎臓病学 改訂第2版 日本小児腎臓病学会編 診断と治療社 9,900円

図解腎臓内科学テキスト 富野 康日己 編 中外医学社 7,600円

5. 成績評価の方法・基準等

筆記試験を行う。各分野の配点は、腎臓内科35点、泌尿器科35点とし、小児科・放射線科・病理診断科各10点とし、合計60点以上を合格とする。

また、各分野を総合して評価するが、総合点が60点以上であっても、各分野の得点が5割程度に満たない場合は不合格とする。

再試験は1回実施する。

6. 事前・事後学修の内容

腎・尿路系の解剖、生理、病理学、さらに、腎・泌尿器系疾患の病態、病理、画像診断、治療法や疫学・予後について復習しておくこと。

7. 教員名

西野 友哉（腎臓内科）、北村 峰昭（腎臓医科）、牟田 久美子（腎臓内科）、阿部 伸一（腎臓内科）、鳥越 健太（腎臓内科）、坂本 良輔（腎臓内科）、今村 亮一（泌尿器科）、大庭 康司郎（泌尿器科）、松尾 朋博（泌尿器科）、光成 健輔（泌尿器科）、望月 保志（血液浄化）、白川 利彦（小児科）、岡野 慎二（病理診断科）、石山 彩乃（放射線科）

8. 備考

特になし

9. ディプロマポリシー（レベルマトリクス）との対応

I. 倫理観とプロフェッショナリズム	D
II. 医学・医療に関する知識	B
III. 医療の実践	C
IV. コミュニケーション技能	D
V. 地域医療・社会医学	D
VI. 科学的探究	C

腎泌尿器系

(3年次・前期)

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座、教員	教室
4	6	木	1	腎臓内科	腎・泌尿器系 イントロダクション	腎臓内科・西野友哉	1講
4	6	木	2	泌尿器科	泌尿器系 イントロダクション	泌尿器科・今村亮一	1講
4	6	木	3	腎臓内科	腎疾患の検査（検尿異常、腎機能検査）	腎臓内科・阿部伸一	1講
4	6	木	5	腎臓内科	糸球体疾患総論	腎臓内科・阿部伸一	1講
4	6	木	6	腎臓内科	糸球体疾患各論	腎臓内科・阿部伸一	1講
4	7	金	1	腎臓内科	糸球体疾患:診断へのアプローチ	腎臓内科・鳥越健太	1講
4	7	金	2	腎臓内科	二次性腎障害	腎臓内科・鳥越健太	1講
4	10	月	5	腎臓内科	尿細管間質性疾患、電解質異常(水・Na異常)	腎臓内科・阿部伸一	1講
4	10	月	6	腎臓内科	電解質異常(K異常、酸塩基異常)	腎臓内科・阿部伸一	1講
4	11	火	1	腎臓内科	その他の腎疾患	腎臓内科・牟田久美子	1講
4	11	火	2	病理	腎病理（糸球体疾患）	腎臓内科・牟田久美子	1講
4	11	火	3	病理	腎病理（尿細管・間質疾患、血管疾患）	腎臓内科・牟田久美子	1講
4	13	木	1	腎臓内科	輸液	腎臓内科・坂本良輔	3講
4	13	木	2	腎臓内科	検尿の重要性	腎臓内科・阿部伸一	3講
4	14	金	1	泌尿器科	泌尿器科学総論・解剖・生理	泌尿器科・大庭康司郎	4講
4	14	金	2	泌尿器科	泌尿器科学総論・症候・検査法	血液浄化・望月保志	4講
4	17	月	5	泌尿器科	尿路器外傷	泌尿器科・今村亮一	3講
4	17	月	6	泌尿器科	尿路結石	泌尿器科・今村亮一	3講
4	18	火	1	小児科	小児の腎泌尿器疾患（小児内科の立場から）	小児科、白川利彦	3講
4	18	火	2	小児科	小児の腎泌尿器疾患（小児内科の立場から）	小児科、白川利彦	3講
4	18	火	3	泌尿器科	腎血管性病変・腎形態異常	血液浄化・望月保志	3講
4	19	水	4	病理	腎・泌尿器疾患の病理	病理診断科、岡野慎士	3講
4	19	水	5	病理	腎・泌尿器疾患の病理	病理診断科、岡野慎士	3講
4	19	水	6	病理	腎・泌尿器疾患の病理	病理診断科、岡野慎士	3講
4	21	金	4	腎臓内科	慢性腎不全、CKD、CKD-MBD(Ca・P代謝)	腎臓内科・坂本良輔	3講
4	21	金	5	腎臓内科	急性腎不全、AKI	腎臓内科・坂本良輔	3講
4	21	金	6	腎臓内科	腎代替療法、アフェレーシス	腎臓内科・坂本良輔	3講
4	24	月	5	泌尿器科	排尿機能障害	泌尿器科・松尾朋博	3講
4	24	月	6	泌尿器科	前立腺肥大症	泌尿器科・松尾朋博	3講
4	25	火	1	泌尿器科	前立腺癌	泌尿器科・光成健輔	3講
4	25	火	2	泌尿器科	炎症性疾患	泌尿器科・光成健輔	3講
4	26	水	1	泌尿器科	尿路癌	泌尿器科・松尾朋博	3講
4	26	水	2	泌尿器科	尿路癌（課題討論）	泌尿器科・松尾朋博	3講
4	27	木	6	放射線	泌尿器系の画像診断	放射線科・石山彩乃	3講
4	28	金	1	泌尿器科	腎腫瘍	泌尿器科・大庭康司郎	3講
4	28	金	2	泌尿器科	腎腫瘍（課題検討）	泌尿器科・大庭康司郎	3講
5	1	月	5	小児科	小児の腎泌尿器疾患（小児内科の立場から）	小児科、白川利彦	3講
5	1	月	6	腎臓内科	総括	腎臓内科・鳥越健太	3講
5	2	火	1	TBL	腎臓内科TBL	腎臓内科・牟田久美子	4講
5	2	火	2	TBL	腎臓内科TBL	腎臓内科・牟田久美子	4講
5	8	月	1	泌尿器科	泌尿器科・総括	泌尿器科・今村亮一	4講
5	8	月	2	TBL	泌尿器科TBL	泌尿器科・大庭康司郎	4講
5	8	月	3	TBL	泌尿器科TBL	泌尿器科・松尾朋博	4講
5	9	火	4~6	試験			4講

生殖系

責任者	氏名 (教室)	三浦 清徳 (産科婦人科学)		
	電話番号	095-819-7363	e-mail	kiyonori@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	17:00~17:30		

対象年次・学期	3年次・前期	講義形態	講義
必修・選択	必修	単位数	1.5
科目英語名	Reproductive Medicine		

1. 授業の概要及び位置づけ

男女の生殖器の解剖、生理および病理について系統的に学習する。正常および異常妊娠、分娩について系統的に学習する。授業内容は講義形式を用いる。

2. 授業到達目標

女性生殖器、男性生殖器の解剖、発生およびその異常について説明できる。男性不妊症や主な男性生殖器疾患について説明できる。女性の性周期、妊娠成立の仕組み、不妊症および不育症について説明できる。正常妊娠、胎児、分娩の経過およびその異常としてのハイリスク妊娠、分娩について説明できる。おもな女性生殖器疾患について説明できる。

3. 授業内容 (講義・実習項目)

講義時間は55コマである。内訳は第三解剖1コマ、病理5コマ、泌尿器科4コマ、産婦人科45コマである。

4. 教科書・教材・参考書

ムーア人体発生学 Moore, Persaud 医歯薬出版 9,500円
新泌尿器科学 内藤 誠二 南山堂 8,700円
標準産科婦人科学 岡井 崇 他編 医学書院 8,610円
病気が見える 産科 メディックメディア 3,600円
病気が見える 婦人科・乳腺外科 メディックメディア 3,300円

5. 成績評価の方法・基準等

出席点および筆記試験により評価する。出席数が全講義数の2/3に満たない場合は失格とし、筆記試験を受けることができない。筆記試験問題は担当教員が分担して作成する。

本論、病理の各分野を総合し、60%以上を合格とする。

本試で合格しなかった場合は再試を行う。再試は60点以上を合格とする。再試験は1回のみ行う。

試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始時刻後30分以内の遅刻に限り受験を認める。

6. 事前・事後学修の内容

教科書、参考書を読み、予習復習を行うこと

7. 教員名

三浦清徳 (長崎大学産婦人科)、北島道夫 (長崎大学産婦人科)、三浦生子 (長崎大学産婦人科)、長谷川ゆり (長崎大学産婦人科)、北島百合子 (長崎大学産婦人科)、森崎佐知子 (長崎大学産婦人科)、松本加奈子 (長崎大学産婦人科)、原田亜由美 (長崎大学産婦人科)、朝永千春 (長崎大学産婦人科)、阿部修平 (長崎大学産婦人科)、福島愛 (長崎大学産婦人科)、梶村慈 (長崎大学産婦人科)、大橋和明 (長崎大学産婦人科)、吉村泰典 (非常勤講師)、檜原久司 (非常勤講師)、近藤英治 (非常勤講師)、中島久良 (非常勤講師)、藤下晃 (非常勤講師)、小寺宏平 (非常勤講師)、濱口大輔 (非常勤講師)、野々下晃子 (非常勤講師)、吉田敦 (非常勤講師)、宮田康好 (長崎大学泌尿器科)、松尾朋博 (長崎大学泌尿器科)、光成健輔 (長崎大学泌尿器科)、柴田恭明 (長崎大学組織生物学)、林洋子 (長崎大学病理診断科)、三上芳喜 (非常勤講師)

8. 備考

特になし

9. ディプロマポリシー（レベルマトリクス）との対応

I. 倫理観とプロフェッショナリズム	C
II. 医学・医療に関する知識	B
III. 医療の実践	C
IV. コミュニケーション技能	C
V. 地域医療・社会医学	C
VI. 科学的探究	B

生殖系

(3年次・前期)

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座、教員	教室
6	28	水	1	イントロダクション	生殖系講義概論	産婦人科・三浦清徳	3講
6	28	水	2	性分化と性器の発生	性線・性器の発生/性分化異常	解剖3・柴田恭明	3講
6	28	水	4	病理	生殖系・卵巣(講義・実習)	一病理・林 洋子	3講
6	28	水	5	病理	生殖系・卵巣(講義・実習)	一病理・林 洋子	3講
6	28	水	6	病理	生殖系・卵巣(講義・実習)	一病理・林 洋子	3講
6	29	木	4	男性生殖器(1)	性機能障害	泌尿器科・今村亮一	3講
6	29	木	5	不妊(1)	性分化異常/男性不妊症	泌尿器科・今村亮一	3講
6	29	木	6	特別講義	倫理	非常勤・吉村泰典	3講
6	30	金	1	男性生殖器(2)	精巣腫瘍/陰茎腫瘍	泌尿器科・大庭康司郎	3講
6	30	金	2	男性生殖器(3)	小児泌尿器科疾患	泌尿器科・大庭康司郎	3講
7	3	月	4	特別講義	産科領域	非常勤・近藤英治	4講
7	3	月	5	婦人科診察	女性性器の構造/婦人科診察	産婦人科・川下さやか	4講
7	3	月	6	性分化異常と無月経	精巢性女性化症候群/Turner症候群など。無月経/PMS/神経性食欲不振症	産婦人科・北島百合子	4講
7	4	火	4	不妊(2)	不妊症/ART/OHSS/不育症	産婦人科・北島道夫	3講
7	4	火	5	加齢に伴う変化	加齢にともなう性機能の変化/POF/更年期障害/老年期/萎縮性膣炎/尿失禁/骨盤内臓器脱	産婦人科・北島百合子	3講
7	4	火	6	絨毛性疾患	絨毛性疾患/絨毛癌/胎状奇胎	産婦人科・長谷川ゆり	3講
7	5	水	1	性器の炎症	STI/外陰膣の炎症/子宮の炎症/付属器炎骨盤炎	非常勤・濱口大輔	3講
7	5	水	2	子宮の疾患(1)	子宮内膜増殖症/子宮体癌	非常勤・濱口大輔	3講
7	6	木	4	ゲノム医療	着床前診断/出生前診断/がんゲノム	産婦人科・三浦生子	3講
7	6	木	5	子宮の疾患(2)	子宮頸部異形成	非常勤・中島久良	3講
7	6	木	6	子宮の疾患(3)	子宮頸癌・外陰癌・膣癌	非常勤・中島久良	3講
7	7	金	1	性器の位置異常	性器形態異常/位置異常/損傷と瘻	非常勤・平木宏一	3講
7	7	金	2	妊娠の異常(1)	妊娠悪阻/流産/異所性妊娠	非常勤・平木宏一	3講
7	10	月	4	婦人科類腫瘍病変	子宮内膜症/子宮腺筋症/子宮筋腫/月経困難症	産婦人科・梶村 慈	4講
7	10	月	5	妊娠の異常(5)	多胎妊娠/血液型不適合妊娠	非常勤・野々下晃子	4講
7	10	月	6	妊娠の異常(6)	早産/切迫早産/絨毛膜羊膜炎/頸管無力症/前期破水	非常勤・野々下晃子	4講
7	11	火	1	付属器腫瘍(2)	卵巣癌/卵管癌	産婦人科・原田亜由美	3講
7	11	火	2	HPVワクチン	HPVワクチン	非常勤・小寺宏平	3講
7	11	火	3	付属器腫瘍(1)	卵巣腫瘍	非常勤・小寺宏平	3講

生殖系

(3年次・前期)

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座、教員	教室
7	11	火	5	病理	生殖系・子宮頸部（講義・実習）	非常勤・川上 史	3講
7	11	火	6	病理	生殖系・子宮頸部（講義・実習）	非常勤・川上 史	3講
7	12	水	1	産婦人科の手術解剖	ロボット手術／広汎子宮全摘術／帝王切開術	産婦人科・三浦清徳	3講
7	12	水	2	妊娠の生理（1）	妊娠の成立／配偶子／受精／着床／初期の分化／妊娠維持機構	産婦人科・北島道夫	3講
7	12	水	4	妊娠の生理（2）	胎芽一胎児期の成長／胎児一胎盤系の生理／産褥の生理	産婦人科・三浦生子	3講
7	12	水	5	妊娠の生理（3）	妊娠に伴う母体変化／母体の生理学的変化	産婦人科・阿部修平	3講
7	12	水	6	妊娠中の胎児評価（1）	妊婦の栄養管理／母体と胎児の管理 妊婦健診の流れ／超音波検査	産婦人科・永田 愛	3講
7	13	木	1	妊娠中の胎児評価（2）	胎児心拍モニタリング／BPS	産婦人科・重富典子	3講
7	13	木	2	妊娠の異常（3）	常位胎盤早期剥離／前置胎盤／癒着胎盤	産婦人科・松本加奈子	3講
7	13	木	3	妊娠の異常（4）	胎児発育不全／羊水異常	産婦人科・重富典子	3講
7	14	金	1	正常分娩	分娩の流れ／分娩の3要素／正常分娩の経過／回旋／分娩の評価	産婦人科・松本加奈子	3講
7	14	金	2	分娩の異常（1）	分娩機転の異常／陣痛の異常／産道の異常／胎勢・回旋・胎位の異常／進入の異常	産婦人科・永田 愛	3講
7	18	火	1	分娩の異常（2）	臍帯の異常／胎児機能不全／過期産	産婦人科・森崎佐知子	3講
7	18	火	2	分娩の異常（4）	産科DIC／弛緩出血／羊水塞栓症／分娩時の裂傷	産婦人科・梶村 慈	3講
7	18	火	3	分娩の異常（5）	分娩介助／子宮内容除去術／陣痛誘発・陣痛抑制／急速遂娩	産婦人科・大橋和明	3講
7	19	水	4	合併症妊娠（1）	婦人科疾患／糖代謝異常合併妊娠	産婦人科・大橋和明	3講
7	19	水	5	合併症妊娠（2）	代謝・内分泌疾患／膠原病／血液疾患 腎・泌尿器疾患／消化器疾患／呼吸器・循環器疾患／神経疾患	産婦人科・森崎佐知子	3講
7	19	水	6	妊娠の異常（7）	母子感染症	産婦人科・長谷川ゆり	3講
7	20	木	4	産褥の異常	産褥の異常／子宮復古不全／産褥熱／深部静脈血栓症／肺血栓塞栓症	産婦人科・阿部修平	3講
7	20	木	5	妊娠の異常（2）	妊娠高血圧症候群／子癇／HELLP症候群	非常勤・吉田 敦	3講
7	20	木	6	分娩の異常（3）	分娩時大量出血／産科ショック	非常勤・吉田 敦	3講
7	21	金	1	特別講義	産科領域	非常勤・藤森敬也	3講
7	21	金	2	妊娠・授乳と薬剤	妊娠と薬剤／産褥と薬剤	産婦人科・川下さやか	3講
7	26	水	1	TBL	周産期	産婦人科・長谷川ゆり	4講
7	26	水	2	TBL	腫瘍	産婦人科・原田亜由美	4講
7	26	水	3	TBL	生殖内分泌	産婦人科・北島道夫	4講
7	27	木	4～6	試験			4講

精神系

責任者	氏名（教室）	熊崎 博一（精神神経学（精神神経科学））		
	電話番号	095-819-7257	e-mail	h.kumazaki@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	水曜日 12:00～13:00		

対象年次・学期	3年次・後期	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	1.5
科目英語名	Neuropsychiatry		

1. 授業の概要及び位置づけ

精神と行動の障害として表現される精神疾患の症候、病態生理、成因とそれに対応する治療とケアについて理解する。精神疾患（精神障害）を、分子レベルから、神経系・内分泌系・免疫系・循環系が交錯する脳、個体、家族、社会、文化、倫理などの多次元の病理が個人の精神と行動の障害として現れたものとして理解し説明するために自主性を持って学習する。さらに、精神疾患に対する治療とケアを通して、多様な思考力や想像力を養う。

2. 授業到達目標

精神疾患に罹患した人々の内的苦悩を実感できる。
精神疾患の病態と成因、治療・ケアの基本的な理解ができる。
こころと行動の理解を目指す諸科学のめざましい発展の実状を理解する。

3. 授業内容（講義・実習項目）

精神障害の成り立ちや治療を理解する上での精神医学全般に関する知識の提供。精神医学分野でのbio-psycho-social-ethicalといった多軸的な観点を養う。

4. 教科書・教材・参考書

標準精神医学 尾崎紀夫、三村将、水野雅文、村井俊哉 医学書院 6,500円
現代臨床精神医学 大熊輝雄 金原出版 7,500円
精神医学 大月三郎 文光堂 7,200円
シネマサイキアトリー 映画からみる精神医学 小澤寛樹 中外医学社 4,968円
おとなの発達症のための医療系支援のヒント 今村明 星和書店 3,024円

5. 成績評価の方法・基準等

出席：30点（講義中の小テスト、講義への姿勢含む）
試験：70点
※欠席の時は事前に連絡すること。

6. 事前・事後学修の内容

特に事前の学修は求めないが、事後は確実に理解し記憶すること。

7. 教員名

熊崎 博一（精神科）、小澤 寛樹（精神科）、今村 明（精神科）、木下 裕久（精神科）、辻田 高宏（非常勤）、肥田 裕久（非常勤）、吉嶺 裕之（非常勤）、松坂 雄亮（非常勤）、金替 信治（非常勤）

8. 備考

特になし

9. ディプロマポリシー（レベルマトリクス）との対応

I. 倫理観とプロフェッショナリズム	A
II. 医学・医療に関する知識	S
III. 医療の実践	B
IV. コミュニケーション技能	A
V. 地域医療・社会医学	B
VI. 科学的探究	A

精神系

(3年次・後期)

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座、教員	教室
9	22	金	4			熊崎	3講
9	22	金	5	ひだクリニックの活動①	ユーザーによる社会的行動	非常勤・肥田	3講
9	22	金	6	ひだクリニックの活動②	ユーザーによる社会的行動	非常勤・肥田	3講
9	25	月	1	精神療法・摂食障害	精神分析・摂食障害	熊崎	3講
9	25	月	2	精神作用物質性障害	薬物療法、病態理解	非常勤・大塚	3講
9	25	月	3	災害精神医学	環境学	非常勤・大塚	3講
9	28	木	1	司法精神医学①	精神保健福祉法、触法精神障害、精神鑑定	非常勤・金替	3講
9	28	木	2	司法精神医学②	精神保健福祉法、触法精神障害、精神鑑定	非常勤・金替	3講
9	28	木	3	パーソナリティ障害/生理機能の障害	パーソナリティの概念史、分類、診断基準	非常勤・金替	3講
9	29	金	4	認知症①	認知症総論	木下	4講
9	29	金	5	精神疾患の分類と診断/精神症候学①	症候学、診断学	非常勤・畑田	4講
9	29	金	6	精神疾患の分類と診断/精神症候学②	症候学、診断学	非常勤・畑田	4講
10	2	月	1	生理機能障害	睡眠障害①	非常勤・吉嶺	4講
10	2	月	2	生理機能障害	睡眠障害②	非常勤・吉嶺	4講
10	2	月	3	認知症②	認知症総論	木下	4講
10	4	水	1	TBL		熊崎	3講
10	4	水	2	TBL		熊崎	3講
10	4	水	3	精神療法	精神療法	今村	3講
10	5	木	1	発達障害の運動	症候学、病態	岩永	4講
10	5	木	2	トラウマ	病態理解、精神療法	今村	4講
10	5	木	3	社会精神医学①	社会精神医学総論	木下	4講
10	10	火	1	統合失調症の病態生理と成因①	病態理解	非常勤・辻田	3講
10	10	火	2	統合失調症の病態生理と成因②	病態理解	非常勤・辻田	3講
10	10	火	3	児童・青年期における精神障害①	自閉スペクトラム症、注意欠如・多動症、限局性学習症	今村	3講
10	10	火	4	器質性・症状性精神障害	概説、対象疾患、せん妄、身体疾患に伴う精神障害、症状 精神病の概説	非常勤・松坂	3講
10	10	火	5	リエゾン精神医学	概説、対象疾患、せん妄、チーム医療の概説	非常勤・松坂	3講
10	10	火	6	社会精神医学②	社会精神医学各論	木下	3講
10	11	水	1	気分障害の病態生理と治療①	脳形態、精神生理、心理学、生化学、薬物療法	小澤	4講
10	11	水	2	気分障害の病態生理と治療②	脳形態、精神生理、心理学、生化学、薬物療法	小澤	4講
10	11	水	3	まとめ		小澤	4講
10	13	金	4~6	試験			4講

免疫・アレルギー疾患系

責任者	氏名 (教室)	川上 純 (内科学第一)		
	電話番号	095-819-7260	e-mail	atsushik@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	金曜日の午後		

対象年次・学期	3年次・後期	講義形態	講義
必修・選択	必修	単位数	1.5
科目英語名	Immunology and Allergy		

1. 授業の概要及び位置づけ

免疫・アレルギー疾患、特にリウマチ・膠原病の病態・診断・治療について講義する。リウマチ・膠原病の分野は病態解析、診断技術、治療法の進歩が著しい分野である。これら疾患群の共通所見、疾患特異的所見および病態に応じた治療法の選択などを学んでほしい。内容は各疾患を講義した後に、これら疾患群の理解に重要な臓器病変や治療のまとめおよび最近のトピックスも授業する。

2. 授業到達目標

生体防御機構における免疫の特徴について理解し、自己免疫疾患の発症原因と考えられている免疫担当細胞や治療ターゲットを説明できる。発熱・皮疹・関節痛など膠原病疾患でよくみられる主な症候・各疾患によるターゲットとなりやすい臓器障害を説明できる。各疾患の原因、分類、診断および治療を学ぶ。

3. 授業内容 (講義・実習項目)

講義主体 (スライドとシラバス)

4. 教科書・教材・参考書

シラバス (各講義担当者)、膠原病・リウマチ診療 (東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター著、MEDICAL VIEW)、膠原病学 (改訂第6版) (塩沢俊一著、丸善)、膠原病診療ノート第4版 (三森明夫著、日本医事新報社)

5. 成績評価の方法・基準等

筆記試験の点数60%以上で合格とする。

本論、放射線の各分野を総合し、60点以上を合格とする。

ただし、総合点が60点以上であっても、各分野の得点が5割程度に満たない場合は不合格とする。

6. 事前・事後学修の内容

教科書を参照し、予習復習を行うこと。

7. 教員名

川上 純 (リウマチ膠原病内科)、右田 清志 (福島県立医科大学医学部リウマチ膠原病内科学講座)、折口 智樹 (保健学科)、井田 弘明 (久留米大学医学部膠原病内科)、坂本 憲穂 (呼吸器内)、井川 敬 (リウマチ膠原病内科)、岩本 直樹 (リウマチ膠原病内科)、鉦塚 さやか (皮膚科)、寶來 吉朗 (長崎医療センター臨床研究センター)、藤川 敬太 (JCHO諫早総合病院)、古賀 智裕 (リウマチ膠原病内科)、清水 俊匡 (リウマチ膠原病内科)、江原 大輔 (皮膚科)

8. 備考

特になし

9. ディプロマポリシー（レベルマトリクス）との対応

I. 倫理観とプロフェッショナリズム	S
II. 医学・医療に関する知識	S
III. 医療の実践	S
IV. コミュニケーション技能	C
V. 地域医療・社会医学	F
VI. 科学的探究	A

免疫・アレルギー疾患系

(3年次・後期)

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座、教員	教室
10	17	火	5	総論1	自己免疫、リウマチ性疾患総論	第一内科：川上	3講
10	17	火	6	各論1	強皮症、混合性結合組織病	第一内科：古賀	3講
10	18	水	1	各論2	成人発症スチル病ほか	第一内科：岩本	3講
10	18	水	2	各論3	ベーチェット病	非常勤講師：寶來	3講
10	18	水	3	各論4	脊椎関節炎	非常勤講師：藤川	3講
10	19	木	5	各論5	関節リウマチの病態と診断	第一内科：川上	3講
10	19	木	6	各論6	自己炎症性疾患、不明熱	非常勤講師：井田	3講
10	23	月	1	総論2	リウマチ膠原病の主要徴候、臨床検査	非常勤講師：右田	3講
10	23	月	2	総論3	リウマチ膠原病の臨床検査	非常勤講師：右田	3講
10	24	火	1	各論7	血管炎症候群1-大型血管炎	保健学科：折口	3講
10	24	火	2	各論8	血管炎症候群2-中小型血管炎	保健学科：折口	3講
10	24	火	3	各論9	シェーグレン症候群	第一内科：清水	3講
10	25	水	4	TBL		第一内科：岩本	4講
10	25	水	5	TBL		第一内科：岩本	4講
10	25	水	6	各論10	全身性エリテマトーデスの病態と診断	第一内科：井川	4講
10	26	木	5	各論11	全身性エリテマトーデスの治療	第一内科：井川	4講
10	26	木	6	放射線科		放射線科：上谷	4講
10	30	月	4	各論12	関節リウマチの治療	第一内科：川上	3講
10	30	月	5	各論13	多発性筋炎・皮膚筋炎	第一内科：川上	3講
10	30	月	6	各論14	高齢者のリウマチ性疾患	保健学科：折口	3講
10	31	火	4	膠原病の皮膚症状	膠原病の皮膚症状	皮膚科：江原	4講
10	31	火	5	リウマチ性疾患の腎病変	リウマチ性疾患と腎	第二内科：牟田	4講
10	31	火	6	リウマチ性疾患の肺病変	リウマチ性疾患と肺	第二内科：坂本	4講
11	2	木	1~3	試験			4講

脳・神経系

責任者	氏名 (教室)	辻野 彰 (脳神経内科)		
	電話番号	095-819-7265	e-mail	akrtjn@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	16:30~17:30		

対象年次・学期	3年次・後期	講義形態	講義
必修・選択	必修	単位数	1.5
科目英語名	Diseases of Nervous System		

1. 授業の概要及び位置づけ

人間の脳・神経系は巧みに構築された高次構造・ネットワークによって機能している。神経疾患は、種々の原因（先天異常・遺伝子異常・感染症・炎症・外傷・血管障害・腫瘍・脱髄・変性・免疫異常など）に基づいたこれらの異常によって生じてくる。脳・神経系は中枢神経・末梢神経・神経筋接合部・筋に分けられるが、それらの場において、多種多彩な病因・病態が存在する。

2. 授業到達目標

神経学に必要な基礎的領域をもとに、神経疾患をSystematicに学ぶことができる。脳・神経系疾患では、症状と経過を問診により詳細に把握すること、神経学的診察を行い、責任病巣を正確にとらえることにより、よりの確な病因的診断に結びつく。本講義により、そのプロセスを学ぶことができる。

3. 授業内容（講義・実習項目）

神経内科学14、脳神経外科学12、小児神経学7、整形外科学4、放射線医学2、病理学9、薬理学4時間から、構成されている。神経学総論は、解剖学・生理学などの基礎的知識をもとに全ての神経系を網羅し、主として神経内科学が担当して行われる。加えて小児神経学の立場から、発達神経学の基礎知識の修得についての講義が行われる。更に、神経診断学を含めた神経学的検査法が、神経内科学、脳神経外科学的立場より講義される。神経学各論では、個々の機能的、器質的疾患に関して、神経内科、脳神経外科、小児神経、整形外科的領域よりそれぞれ講義される。脳神経系疾患の放射線診断（画像診断）、病理診断、薬理作用に関して、放射線医学、病理学、薬理学的立場から講義される。

4. 教科書・教材・参考書

神経内科ハンドブック 水野美邦 医学書院 14,500 円
Pediatric Neurology Swaiman Mosby
標準整形外科学 広畑 和志 他 医学書院 8,700 円
ニュースタンダード脳神経外科学 生塩之敬, 種子田護, 山田和雄 三輪書店 7,350 円
標準放射線医学 (第7版) 西谷 弘 他編 医学書院 10,500円

5. 成績評価の方法・基準等

本試験の結果で評価を行う。本論、放射線、病理、薬理の各分野の合格基準を満たし、かつ総合得点で、60割以上を合格とする。
再試験の有無：無

6. 事前・事後学修の内容

教科書、LACS資料などを参照し、予習復習を行うこと。

7. 教員名

辻野 彰 (脳神経内科)、立石 洋平 (脳神経内科)、宮崎 禎一郎 (脳神経内科)、吉村 俊祐 (脳神経内科)、島 智秋 (脳神経内科)、平山 拓朗 (脳神経内科)、富田 祐輝 (脳神経内科)、山下 魁理 (脳神経内科)、松尾 孝之 (脳神経外科)、出雲 剛 (脳神経外科)、吉田 光一 (脳神経外科)、日宇 健 (脳神経外科)、諸藤 陽一 (脳神経外科)、氏

福 健太（脳神経外科）、馬場 史郎（脳神経外科）、岡村 宗晃（脳神経外科）、堀江 信貴（非常勤）、林 健太郎（非常勤）、戸田 啓介（非常勤）、小野 智憲（非常勤）、里龍晴（小児科）、梶山 史郎（整形外科）、田上 敦士（整形外科）、中島 正洋（病理学）、島田 厚良（病理学）、有賀 純（薬理学）、藤田 和歌子（薬理学）、森川 実（放射線科）、井手口 怜子（放射線科）

8. 備考

講義ごとに学習テーマを呈示する。

9. ディプロマポリシー（レベルマトリクス）との対応

I. 倫理観とプロフェッショナリズム	C
II. 医学・医療に関する知識	C
III. 医療の実践	C
IV. コミュニケーション技能	C
V. 地域医療・社会医学	C
VI. 科学的探究	C

脳・神経系

(3年次・後期)

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座、教員	教室
9	19	火	1	小児神経総論	神経系の発達と精神運動機能	小児科・里	3講
9	19	火	2	小児神経各論①	フロッピーインファント～筋疾患	小児科・里	3講
9	19	火	3	小児神経各論②	小児のてんかん 総論	小児科・里	3講
9	19	火	4	薬理	抗てんかん薬・抗不安薬	医科薬理・藤田	3講
9	19	火	5	薬理	抗パーキンソン病薬・抗認知症薬	医科薬理・藤田	3講
9	19	火	6	薬理	抗精神病薬	医科薬理・有賀	3講
9	20	水	1	脳神経内科学総論	脳・神経系の構成と機能局在	脳神経内科・辻野	3講
9	20	水	2	脳神経内科学総論	神経症候学と神経学的検査	脳神経内科・辻野	3講
9	20	水	3	脳神経内科学各論	認知症疾患	脳神経内科・宮崎	3講
9	20	水	4	病理	腫瘍・循環障害・感染症（講義）	原研病理・中島	3講
9	20	水	5	病理	腫瘍・循環障害・感染症（講義）	原研病理・中島	3講
9	20	水	6	病理	腫瘍・循環障害・感染症（講義）	原研病理・中島	3講
9	21	木	1	筋疾患・麻痺性疾患/末梢神経(b)	筋疾患, 麻痺性疾患の診断と治療 末梢神経の解剖, 生理とその診断治療	整形外科・梶山	3講
9	21	木	2	筋疾患・麻痺性疾患/末梢神経(b)	筋疾患, 麻痺性疾患の診断と治療 末梢神経の解剖, 生理とその診断治療	整形外科・梶山	3講
9	21	木	3	脳神経内科学各論	脳炎・髄膜炎	脳神経内科・吉村	3講
9	21	木	5	小児神経各論③	小児のてんかん 各論	小児科・里	3講
9	21	木	6	小児神経各論④	小児のてんかん 基礎疾患	小児科・里	3講
9	22	金	1	脳腫瘍①	小児脳腫瘍と小児脳神経外科	脳神経外科・吉田	3講
9	22	金	2	脳腫瘍④	トルコ鞍腫瘍	脳神経外科・馬場	3講
9	22	金	3	脳腫瘍③	神経膠腫、PCNSL	脳神経外科・氏福	3講
9	25	月	5	小児神経各論⑤	周産期障害	小児科・里	3講
9	25	月	6	小児神経各論⑥	急性疾患	小児科・里	3講
9	26	火	1	脊椎・脊髄疾患	頸椎, 頸髄疾患 胸椎, 胸髄疾患	整形外科・田上	3講
9	26	火	2	脊椎・脊髄疾患	脊髄の生理・解剖	整形外科・田上	3講
9	26	火	3	脳神経内科学各論	虚血性脳血管障害 1	脳神経内科・立石	3講
9	26	火	4	薬理	抗うつ薬・気分安定薬	医科薬理・有賀	3講
9	26	火	5	放射	脳神経系の画像診断1	放射線科・森川	3講
9	26	火	6	放射	脳神経系の画像診断2	放射線科・井手口	3講
9	27	水	1	脳神経内科学各論	虚血性脳血管障害 2	脳神経内科・山下	3講
9	27	水	2	脳神経内科学各論	末梢神経障害	脳神経内科・島	3講
9	27	水	3	脳神経内科学各論	脱髄疾患	脳神経内科・吉村	3講
9	27	水	5	脳神経内科学各論	筋疾患	脳神経内科・平山	3講

脳・神経系

(3年次・後期)

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座、教員	教室
9	27	水	6	脳神経内科学各論	てんかんの外科的治療	脳神経内科・宮崎	3講
9	28	木	4	特別講義	特別講義	スタンフォード大学名誉教授 ジョン・アドラー	3講
9	28	木	5	脳神経内科学各論	パーキンソン病	脳神経内科・吉村	3講
9	28	木	6	脳神経内科学各論	神経変性疾患	脳神経内科・吉村	3講
10	2	月	5	脳神経外科総論	脳神経診療における脳神経外科の役割	脳神経外科・松尾	2講
10	2	月	6	脳血管障害③	脳血管内治療	非常勤・堀江	2講
10	3	火	1	脳腫瘍②	髄膜腫、神経鞘腫など	脳神経外科・日宇	4講
10	3	火	2	外傷	頭部外傷一般	脳神経外科・岡村	4講
10	3	火	5	機能的脳神経外科①	機能的脳神経外科	非常勤・戸田	4講
10	3	火	6	機能的脳神経外科②	てんかんの外科的治療	非常勤・小野	4講
10	4	水	4	病理	変性疾患(講義)	非常勤・島田	3講
10	4	水	5	病理	変性疾患(講義)	非常勤・島田	3講
10	4	水	6	病理	変性疾患(講義)	非常勤・島田	3講
10	5	木	4	病理	腫瘍・循環障害・感染症(実習)	原研病理・中島	実1・実2
10	5	木	5	病理	腫瘍・循環障害・感染症(実習)	原研病理・中島	実1・実2
10	5	木	6	病理	腫瘍・循環障害・感染症(実習)	原研病理・中島	実1・実2
10	6	金	1	脳血管障害②	くも膜下出血	脳神経外科・諸藤	3講
10	6	金	2	脳血管障害①	脳卒中の外科	脳神経外科・出雲	3講
10	6	金	3	脳神経内科学各論	頭痛・めまい	脳神経内科・立石	3講
10	6	金	5	脳神経内科学各論	重症筋無力症とLambert-Eaton筋無力症候群	脳神経内科・島	3講
10	6	金	6	予備日			3講
10	11	水	5	予備日			4講
10	11	水	6	予備日			4講
10	12	木	1	TBL		脳神経内科・宮崎	4講
10	12	木	2	TBL		脳神経内科・宮崎	4講
10	12	木	3	TBL		脳神経内科・宮崎	4講
10	16	月	4~6	試験			4講

皮膚系

責任者	氏名 (教室)	室田 浩之 皮膚科学 (皮膚病態学)		
	電話番号	095-819-7331	e-mail	h-murota@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	9:00~17:00 ※必ず事前にアポイントを取ること		

対象年次・学期	3年次・後期	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	1.0
科目英語名	Dermatology		

1. 授業の概要及び位置づけ

皮膚病変は実際に目で見る事が出来る病変であり、生検も容易に行える点が特異といえる。しかし皮膚病変の原因は無数にあり、診断名も煩雑であることが理解されにくい一因であろう。この系では、臨床医に必要な皮膚疾患の概説を行うが、単なる暗記ではなく、皮膚の構造と状態を理解し、病変を見た場合の診断の仕方を、(1)皮疹の見方、(2)病理所見、(3)病因、(4)病態などを把握しながら学んでほしい。

また、「皮膚は内臓の鏡」ともいわれ、思わぬ内臓疾患が判明することもある。皮膚病変の位置づけを全身疾患との関連性の面でも理解してほしい。

2. 授業到達目標

発疹学が説明できるようになり、多彩な皮膚病変を分類することができ、その症状、発生病理を説明できること。

3. 授業内容 (講義・実習項目)

全25時間の講義は、皮膚科と形成外科からなる。講義は皮膚の解剖、生理、病理、診断に始まり、皮膚科からは各種皮膚疾患の講義を、形成外科より形態異常、熱傷、瘢痕及びケロイド、皮膚潰瘍などの講義を行い、皮膚と内臓病変、治療をもって終了とする。詳細は講義日程を参照のこと。

4. 教科書・教材・参考書

要点はLACSに掲載するが、全てはカバーできないため、参考書はぜひ一冊持ってほしい。

<皮膚科、病理>

あたらしい皮膚科学 第3版 清水 宏 著 中山書店 8,580円

皮膚科学 第10版 大塚藤男 著 金芳堂 13,750円

<形成外科>

標準形成外科学 第7版 平林慎一監修 鈴木茂彦・岡崎 睦編集 医学書院 6,380円

TEXT形成外科 第3版 波利井清紀 監修 南山堂 6,600円

5. 成績評価の方法・基準等

講義終了後に筆記試験を行う。各科の時間数に応じて配点を割り当て、総計100点として評価する。60点以上を合格とするが、60点以上であっても各分野での得点が40点に満たない時は不合格となることもある。また、評価には出席率も考慮する。再試験は1回のみ行う。コロナウイルスの感染拡大の状況により、評価方法や基準が変更になることもある。

6. 事前・事後学修の内容

【予習】上記参考資料で、当該部分を一読しておくこと。(1h) 【復習】授業の資料を、教科書等を参考にしながら、しっかり復習する。(1h)

7. 教員名

室田 浩之 (皮膚科)、竹中 基 (皮膚科)、鋏塚 大 (皮膚科)、鋏塚 さやか (皮膚科)、岩永 聡 (皮膚科)、松本 舞 (皮膚科)、江原 大輔 (皮膚科)、田中 克己 (形成外科)、樫山 和也 (形成外科)、岩尾 敦彦 (形成外科)、東 晃史 (形成外科)、芦田美輪 (非常勤講師)、宿輪 哲生 (非常勤講師)

8. 備考

特になし

9. ディプロマポリシー（レベルマトリクス）との対応

I. 倫理観とプロフェッショナリズム	B
II. 医学・医療に関する知識	B
III. 医療の実践	B
IV. コミュニケーション技能	B
V. 地域医療・社会医学	C
VI. 科学的探究	C

皮膚系

(3年次・後期)

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座、教員	教室
10	17	火	1	皮膚科学	皮膚科総論	皮膚科・室田	3講
10	17	火	2	皮膚科学	湿疹・皮膚炎群、蕁麻疹	皮膚科・室田	3講
10	17	火	3	形成外科学	形成概論、組織移植、人工医用材料	形成外科・田中	3講
10	18	水	5	皮膚科学	皮膚病理学	皮膚科・岩永	3講
10	18	水	6	皮膚科学	皮膚腫瘍(1)	皮膚科・鍼塚(大)	3講
10	19	木	1	皮膚科学	皮膚腫瘍(2)	皮膚科・鍼塚(大)	3講
10	19	木	2	皮膚科学	乾癬、角化症など	皮膚科・江原	3講
10	19	木	3	皮膚科学	皮膚リンパ腫及び関連疾患	皮膚科・松本	3講
10	23	月	4	皮膚科学	真菌症・虫による皮膚病	皮膚科・竹中	4講
10	23	月	5	皮膚科学	薬疹	皮膚科・竹中	4講
10	23	月	6	皮膚科学	紅斑症、膠原病関連疾患、梅毒	皮膚科・竹中	4講
10	24	火	5	形成外科学	皮膚縫合法、植皮・各種皮弁、Z形成術	形成外科・岩尾	4講
10	24	火	6	皮膚科学	毛髪・爪の異常、脂腺系疾患	原爆・宿輪	4講
10	25	水	1	皮膚科学	ウイルス感染症・細菌感染症	皮膚科・鍼塚(さ)	3講
10	25	水	2	形成外科学	熱傷・電撃傷・化学損傷	形成外科・東	3講
10	26	木	1	皮膚科学	膠原病	皮膚科・室田	3講
10	26	木	2	皮膚科学	皮膚生理学:触覚、発汗	皮膚科・室田	3講
10	26	木	3	皮膚科学	真皮結合組織異常	皮膚科・岩永	3講
10	30	月	1	皮膚科学	熱帯皮膚感染症	皮膚科・竹中	3講
10	30	月	2	皮膚科学	水疱症・膿疱症	九大・芦田	3講
10	31	火	1	形成外科学	創傷治癒、瘢痕・ケロイド、褥瘡・難治性潰瘍	形成外科・樫山	4講
10	31	火	2	皮膚科学	母斑・色素異常症	皮膚科・鍼塚(さ)	4講
11	2	木	4	皮膚科学	紫外線皮膚障害	九大・芦田	4講
11	2	木	5	TBL			4講
11	2	木	6	TBL			4講
11	6	月	1~3	試験			2講

視覚系

責任者	氏名 (教室)	北岡 隆 (眼科学・視覚科学)		
	電話番号	095-819-7344	e-mail	tkitaoka@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	水曜日 18:00~19:00		

対象年次・学期	3年次・後期	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	1.5
科目英語名	Ophthalmology		

1. 授業の概要及び位置づけ

外界からの情報の80%以上は視覚を通して得られ、「失明宣告」は「死の宣告」にも匹敵する。本授業ではこの重要な感覚器である眼と付属器を基礎医学の知識をもとに体系づけて学習し、眼科学と他臓器疾患との関連性を理解していく。

具体的には、視覚器の構造と機能を学習し、視覚を脅かす疾患について理解を深める。また全身疾患から生じる視機能障害の原因と症状を学ぶ。さらに内科的検査で視診に相当する細隙灯検査・眼底検査の基本的検査から、蛍光造影検査・光干渉断層計等の眼科特有の検査について学び、視機能を回復させる眼科治療についても学習する。

2. 授業到達目標

眼科学の基本を体系的に学び、他臓器疾患との関連性を理解する。

すべての医師にとって必要な眼科領域の知識を習得し、糖尿病・高血圧などの全身疾患から生じる眼合併症の重要性を認識する。また眼科疾患とわからずに内科・総合診療科等を受診し、見逃される可能性の高い眼科疾患についても鑑別できることを目標とする。

3. 授業内容 (講義・実習項目)

講義内容：眼と付属器の解剖および生理、視機能とその検査、眼瞼疾患、涙器疾患、結膜疾患、角膜疾患。ぶどう膜炎疾患、水晶体疾患、網膜硝子体疾患、緑内障、視神経・視路疾患、視覚期の発生・小児の視機能とその発達・斜視弱視、外眼筋疾患、眼窩疾患、全身病（循環器疾患、糖尿病、先天代謝異常、血液疾患、悪性腫瘍、内分泌疾患、ビタミン欠乏、皮膚疾患、膠原病、感染症、医原性疾患・中毒・薬剤副作用、染色体異常、未熟児網膜症、筋・骨・結合織疾患、その他）と眼、外傷、眼科救急疾患

思考過程を重視し、考える講義にする。スライドおよび実際の眼科診療機材を提示し、視覚的アプローチを重視した講義を行う。

4. 教科書・教材・参考書

1. Vaughan & Asbury's General Ophthalmology. 19th Ed. Paul Riordan-Eva, James J. Augsburger McGraw-Hill Medical Publishing 約15,000円
2. Clinical Ophthalmology: A Systematic Approach 9th Ed. John.F.Salmon Butterworth-Heinemann Medical 約47,000円
3. 現代の眼科学 第13版 所敬 (監)、吉田晃敏、谷原秀信 (編) 金原出版 約7,900円

5. 成績評価の方法・基準等

筆記試験にて合否を判定するが、出席状況も加味し、60点以上を合格とする。

6. 事前・事後学修の内容

眼球および付属器に関して、今までに学んできた知識をもって授業に臨むこと。

7. 教員名

北岡 隆 (眼科)、上松 聖典 (眼科)、築城 英子 (眼科)、大石 明生 (眼科)、草野 真央 (眼科)、原田 史織 (眼科)、井上 大輔 (眼科)、宮城 清弦 (眼科)、平田 佑妃 (眼科)、嵩 義則 (ダケ眼科)、三島 一晃 (三島眼科)、山田 義久 (やまだ眼科クリニック)、吉田 茂生 (久留米大学 眼科)、町田 祥 (眼科)、前川 有紀 (長崎医療センタ

一)

8. 備考

特になし

9. ディプロマポリシー（レベルマトリクス）との対応

I. 倫理観とプロフェッショナリズム	B
II. 医学・医療に関する知識	A
III. 医療の実践	B
IV. コミュニケーション技能	D
V. 地域医療・社会医学	C
VI. 科学的探究	C

視覚系

(3年次・後期)

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座、教員	教室
11	7	火	1	眼科総論	眼の構造・機能Ⅰ	眼科・北岡	3講
11	7	火	2	眼科総論	眼の構造・機能Ⅱ	眼科・北岡	3講
11	7	火	3	眼科総論	眼科検査Ⅰ	眼科・北岡	3講
11	8	水	4	眼科総論	眼科検査Ⅱ	眼科・草野	4講
11	8	水	5	眼科総論	眼科検査Ⅲ	眼科・草野	4講
11	8	水	6	リハビリテーション	ロービジョンケア	非常勤・前川	4講
11	10	金	1	眼窩・神経眼科	眼窩疾患	非常勤・三島	3講
11	10	金	2	神経眼科	神経眼科	眼科・大石	3講
11	10	金	3	遺伝	全身疾患・遺伝と眼疾患	眼科・大石	3講
11	14	火	1	眼底	網膜循環障害	眼科・宮城	4講
11	14	火	2	網膜	黄斑疾患	眼科・町田	4講
11	14	火	3	発達・眼位	網膜疾患	眼科・築城	4講
11	16	木	5	治療	眼科治療学	非常勤・山田	4講
11	16	木	6	中間透光体	水晶体	眼科・町田	4講
11	20	月	1	発生	発生・奇形	眼科・上松	4講
11	20	月	2	前眼部	角膜・涙液	眼科・上松	4講
11	20	月	3	前眼部	眼瞼・結膜・涙道	眼科・上松	4講
11	21	火	5	緑内障	緑内障Ⅰ	非常勤・嵩	4講
11	21	火	6	全身疾患と眼	糖尿病網膜症	非常勤・吉田	4講
11	22	水	1	緑内障	緑内障Ⅱ	眼科・築城	4講
11	22	水	2	ぶどう膜	ぶどう膜炎Ⅰ	眼科・原田	4講
11	22	水	3	ぶどう膜	ぶどう膜炎Ⅱ	眼科・宮城	4講
11	24	金	1	眼底	斜視・弱視	眼科・原田	4講
11	24	金	2	救急	眼科救急と外傷	眼科・井上	4講
11	28	火	4	TBL	緑内障及び糖尿病網膜症	眼科・大石	4講
11	28	火	5	TBL	緑内障及び糖尿病網膜症	眼科・大石	4講
11	28	火	6	TBL	緑内障及び糖尿病網膜症	眼科・大石	4講
11	30	木	1~3	試験			4講

耳鼻咽喉口腔系

責任者	氏名 (教室)	熊井 良彦 (耳鼻咽喉・頭頸部外科学 (展開医療科学講座))		
	電話番号	095-819-7349	e-mail	ykumai426@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	18:30~19:30		

対象年次・学期	3年次・後期	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	1.5
科目英語名	Otorhinolaryngology—Head and Neck Surgery		

1. 授業の概要及び位置づけ

感覚器を中心とした耳鼻咽喉科・頭頸部外科学領域の基礎を学び、検査、診断、治療法を理解する。また救急処置の基本を学び、併せて全身ないしは環境と耳鼻咽喉科領域の関連について学習をする。

2. 授業到達目標

耳科学、平衡神経学、鼻科学、口腔・咽頭科学、喉頭科学、頭頸部外科学の基礎的内容や主要疾患について理解できる。臨床実習および医師国家試験、さらに卒後臨床研修においても応用ができる知識が得られる。

3. 授業内容 (講義・実習項目)

講義は3年次後期より始まる。耳科学、平衡神経学、鼻科学、口腔・咽頭科学、喉頭科学、頭頸部外科学に分類される。

4. 教科書・教材・参考書

STEP 耳鼻咽喉科学 第3版 渡辺建介、高橋茂樹 海馬書房 4,428円
新耳鼻咽喉科学 改訂11版 野村 恭也、加我 君孝 南山堂 17,280円

5. 成績評価の方法・基準等

講義内容について、筆記試験にて60点以上を合格とする。
講義は出欠をとり、出席状況が試験の採点に反映される。

6. 事前・事後学修の内容

事前学習としては頭頸部領域の解剖と生理、特に聴覚・平衡覚の生理の予習を推奨する。
事後学習としては講義内容をレジюмеとともに復習し、内容を理解するように努め、将来的に実臨床で活かせるようにする。

7. 教員名

熊井 良彦 (耳鼻咽喉科・頭頸部外科)、木原 千春 (耳鼻咽喉科・頭頸部外科)、西 秀昭 (耳鼻咽喉科・頭頸部外科)、佐藤 智生 (耳鼻咽喉科・頭頸部外科)、前田 耕太郎 (耳鼻咽喉科・頭頸部外科)、大野 純希 (耳鼻咽喉科・頭頸部外科)、高島 寿美恵 (耳鼻咽喉科・頭頸部外科)、神田 幸彦 (神田E・N・T医院)、金子 賢一 (医療教育開発センター)、江上直也 (江上耳鼻咽喉科医院)、寺門 万里子 (事務補佐) (耳鼻咽喉科・頭頸部外科)、矢野朱実 (事務補佐) (耳鼻咽喉科・頭頸部外科)

8. 備考

特になし

9. ディプロマポリシー（レベルマトリクス）との対応

I. 倫理観とプロフェッショナリズム	B
II. 医学・医療に関する知識	B
III. 医療の実践	B
IV. コミュニケーション技能	B
V. 地域医療・社会医学	B
VI. 科学的探究	B

耳鼻咽喉口腔系

(3年次・後期)

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座、教員	教室
11	6	月	4	耳科学	耳の解剖・生理	耳鼻咽喉科・熊井	2講
11	6	月	5	嚥下医学	嚥下① 生理と障害	耳鼻咽喉科・熊井	2講
11	6	月	6	嚥下医学	嚥下② リハビリと手術	耳鼻咽喉科・熊井	2講
11	7	火	5	耳科学	様々な聴力検査について	耳鼻咽喉科・佐藤	4講
11	7	火	6	耳科学	耳疾患各論①：外耳・画像診断	耳鼻咽喉科・木原	4講
11	8	水	1	耳科学	耳疾患各論②：中耳	耳鼻咽喉科・木原	3講
11	8	水	2	平衡神経学	めまい①平衡機能検査	耳鼻咽喉科・木原	3講
11	8	水	3	耳科学	耳疾患各論③：内耳	耳鼻咽喉科・佐藤	3講
11	9	木	4	耳鼻咽喉科学	側頭骨・頭蓋底総論 顔面神経など	耳鼻咽喉科・佐藤	4講
11	9	木	5	喉頭科学	喉頭疾患、音声外科	耳鼻咽喉科・金子	4講
11	9	木	6	気管食道科学	気管・食道疾患の総論・各論	耳鼻咽喉科・金子	4講
11	10	金	5	頭頸部外科学	頭頸部腫瘍① 総論 頭頸部癌	耳鼻咽喉科・西	4講
11	10	金	6	頭頸部外科学	頭頸部腫瘍② 疾患各論	耳鼻咽喉科・西	4講
11	13	月	1	耳鼻咽喉科学	側頭骨・頭蓋底疾患各論	耳鼻咽喉科・前田	3講
11	13	月	2	口腔・咽頭科学	口腔・咽頭・唾液腺疾患	耳鼻咽喉科・前田	3講
11	13	月	4	平衡神経学	めまい②疾患各論など	耳鼻咽喉科・木原	4講
11	13	月	5	平衡神経学	めまい③診断と疾患など	耳鼻咽喉科・江上	4講
11	13	月	6	耳鼻咽喉科学	耳鼻咽喉画像診断・頸部良性疾患	耳鼻咽喉科・高島	4講
11	20	月	5	鼻科学	鼻・副鼻腔① 解剖と生理・検査	耳鼻咽喉科・木原	4講
11	20	月	6	鼻科学	鼻・副鼻腔② 疾患各論	耳鼻咽喉科・木原	4講
11	21	火	1	耳科学	耳の手術	耳鼻咽喉科・熊井	4講
11	21	火	2	耳科学	人工内耳	耳鼻咽喉科・佐藤	4講
11	22	水	5	TBL	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	耳鼻咽喉科・大野	4講
11	22	水	6	TBL	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	耳鼻咽喉科・大野	4講
11	24	金	4	耳科学	補聴器と先天性難聴	耳鼻咽喉科・神田	4講
11	24	金	5	耳鼻咽喉科学	耳鼻咽喉科の救急疾患	耳鼻咽喉科・高島	4講
11	24	金	6	耳鼻咽喉科学	耳鼻咽喉科の国家試験対策	耳鼻咽喉科・大野	4講
11	28	火	1～3	試験	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	耳鼻咽喉科・大野	4講

放射線医学

責任者	氏名 (教室)	東家 亮 (放射線医学 (放射線診断治療学))		
	電話番号	095-819-7354	e-mail	toya@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	月曜日 10:00~12:00		

対象年次・学期	3年次・後期	講義形態	講義
必修・選択	必修	単位数	0.5
科目英語名	Radiology		

1. 授業の概要及び位置づけ

放射線医学は、放射線診断学、核医学および放射線治療学から成り立っている。本講義では各臓器疾患に共通する内容として、核医学検査と放射線治療、放射線学的手技を応用した治療 (interventional radiology) について学習する。各臓器毎の放射線診断 (画像診断) については、それぞれの臓器別の講義で行われる。

2. 授業到達目標

- 1 核医学検査の種類と基本的原理、検査の特徴と適応、診断の要点を理解する。
- 2 放射線治療の種類と基本的原理、特徴と適応、副作用について理解する。
- 3 IVRの種類、手技の実際、適応について理解する。

3. 授業内容 (講義・実習項目)

核医学検査 2コマ、放射線診断 2コマ、IVR 1コマ

4. 教科書・教材・参考書

標準放射線医学 (第7版) 西谷 弘 他編 医学書院 10,500円

5. 成績評価の方法・基準等

試験にて60%以上の得点率にて合格とする。再試験は1回のみとする。

6. 事前・事後学修の内容

【予習】 授業予定内容の教科書の該当部分を予習しておくこと (1h)

【復習】 講義内容について、テキストや参考書を読んで復習し、理解できない点は図書やインターネットを用いて調べ、それでもわからない点は友人 や教員に質問し、解決すること。(1h)

7. 教員名

工藤 崇 (原研放射)、東家 亮 (放射線科)、江川 亜希子 (放射線科)、長山 拓希 (放射線科)

8. 備考

特になし

9. ディプロマポリシー (レベルマトリクス) との対応

I. 倫理観とプロフェッショナリズム	D
II. 医学・医療に関する知識	C
III. 医療の実践	D
IV. コミュニケーション技能	D
V. 地域医療・社会医学	D
VI. 科学的探究	D

放射線医学

(3年次・後期)

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座、教員	教室
11	9	木	1	放射線医学	血管造影・IVR	長山	3講
11	9	木	2	放射線医学	放射線治療1	江川	3講
11	9	木	3	放射線医学	放射線治療2	東家	3講
11	14	火	5	放射線医学	核医学1	工藤	4講
11	14	火	6	放射線医学	核医学2	工藤	4講
11	16	木	1~3	試験			4講

リサーチセミナー

責任者	氏名 (教室)	池田 裕明 (腫瘍医学)		
	電話番号	095-819-7081	e-mail	hikeda@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	9:00-17:00		

対象年次・学期	3年次・後期、4年次・前期	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	11.5
科目英語名	Research Seminar		

1. 授業の概要及び位置づけ

有能な医師になる為には、基礎研究を理解し実施する能力、理論的かつ批判的に考察する能力が必須である。医学はまだ発展途上にあり、有能な医師は、その発展の一端を担える能力、研究成果の是非を判断する能力を習得しなければならない。現在、専門医の重要性が強調される裏側で、研究に対する意識が薄らぐ傾向にあると言えるが、リサーチセミナーでは、研究の実践を通じて「医学」が「科学」としていかに発展するかというプロセスを学ぶ。

2. 授業到達目標

セミナー期間中は、熱帯医学研究所・原爆後障害医療研究所を含む基礎系教室で終日研究活動に従事し、配属先の基礎医学系教員とマンツーマンの指導を受け、研究背景を学術論文から理解し、研究計画書を作成して実践し、研究結果をまとめ、発表および討論を行う能力を身につけることを目標とする。なお合同発表会は、可能な限り一般公開する。

3. 授業内容 (講義・実習項目)

3年次後期 (1~2月)、各配属教室において研究実習を行い、報告書を提出する。
4年次前期 (5月)、リサーチセミナー発表会において、研究内容の発表を行う。

4. 教科書・教材・参考書

各配属教室による。

5. 成績評価の方法・基準等

研究報告書・担当教員の評価・発表会の評価から総合的に評価する。

6. 事前・事後学修の内容

毎回の予習復習課題として文献資料を読むこと。

7. 教員名

池田 裕明 (腫瘍医学)

8. 備考

【研究テーマの選択方法】

1. 各教室から研究テーマ、そのテーマを指導する責任教員名とそのテーマに従事する学生数が公示される。
2. 各学生は希望する教室とテーマを1つ選択して提出する。
3. この時点で学生自身がテーマを提案してもよい。その場合にはそのテーマについて指導することを承諾する講座を必要とする。
4. 各研究テーマの定員を超過した場合には、学生間の抽選により決定する。
5. 抽選にもれた学生は、定員に満たないテーマの中から、テーマを1つ選択して提出する。
6. 全学生が何れかのテーマに属するまで上記4. と5. の操作を繰り返す。

【リサーチセミナー履修の認定の条件】

1. セミナー開始時にオリエンテーション（総合オリエンテーション、実験動物についての講義）、必要な動物実験施設やアイソトープ実験施設の使用に関する説明会に出席していること。
2. 研究活動に200時間以上を従事していること。
3. 研究報告書（A4のフォーマットを準備）を学務課へ提出すること。（※切：3月1日）
（ワープロまたはボールペン書きのものに限る。鉛筆書きは不可）
4. 実際の研究記録は配属教室の指導責任者に提出すること。配属教室ではリサーチセミナー終了時に発表会を開き、研究記録とともに評価をしてもらう。指導教員はこの評価をリサーチセミナー責任者に提出する。（※切：3月1日）
5. 4年次の5月に開催される「リサーチセミナー発表会」に出席し、発表・討論を行うこと。

9. ディプロマポリシー（レベルマトリクス）との対応

I. 倫理観とプロフェッショナリズム	E
II. 医学・医療に関する知識	B
III. 医療の実践	E
IV. コミュニケーション技能	F
V. 地域医療・社会医学	E
VI. 科学的探究	A

プレリサーチセミナー

責任者	氏名 (教室)	柳原 克紀 (臨床検査医学 (病態解析・診断学))		
	電話番号	095-819-7574	e-mail	k-yanagi@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	月～金曜日 17:00～18:00		

対象年次・学期	1～3年次・通年	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修 (グローバルヘルス研究医枠)	単位数	各1単位
科目英語名	Pre research seminar		

1. 授業の概要及び位置づけ

基礎医学を担う研究者の育成により卓越した教育及び研究成果を社会に還元することは医学部の使命である。基礎教室配属による少人数教育により基礎科学に必須の基礎的学力や柔軟な応用力を身につけ、科学的思考により問題を解決できる将来の医療人を養うことを目標とする。

2. 授業到達目標

基礎科学に必須の基礎的学力や柔軟な応用力を身につけ、科学的思考により問題を解決できる将来の医療人を養うことを目標とする。

3. 授業内容 (講義・実習項目)

1年次前期：各教室による研究内容等の紹介セミナーを受講する。

1年次後期、2年次、3年次：配属教室において、研究テーマ・目標を設定し研究活動を行う。

4. 教科書・教材・参考書

各担当教員により必要な資料等を提示する。

5. 成績評価の方法・基準等

1年次前期：出席状況及び課題レポート等により総合的に評価する。

1年次後期～3年次：配属教室での活動、研究成果に基づき配属先の担当教員が評価する。

6. 事前・事後学修の内容

各担当教員による。

7. 教員名

柳原 克紀 (臨床検査医学)

8. 備考

配属教室は、1年次前期終了時に、科目責任者と相談のうえ、仮配属として決定し、3年次のプレリサーチセミナー及びリサーチセミナーで本配属とする。

また、リサーチセミナーの海外実習については、配属教室と相談のうえ、派遣学生としての応募を可能とする。

9. ディプロマポリシー (レベルマトリクス) との対応

I. 倫理観とプロフェッショナリズム	E
II. 医学・医療に関する知識	B
III. 医療の実践	E
IV. コミュニケーション技能	F
V. 地域医療・社会医学	E
VI. 科学的探究	B

国際医療英語

準備中
完成次第更新予定

対象年次・学期	2～3年	講義形態	講義
必修・選択	必修（国際プログラム）	単位数	各1
科目英語名			

準備中
完成次第更新予定

医学ゼミ

責任者	氏名（教室）	柳原 克紀（臨床検査医学（病態解析・診断学））		
	電話番号	095-819-7574	e-mail	k-yanagi@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	月～金曜日 17:00～18:00		

対象年次・学期	1～4年次：前期	講義形態	各担当教員による
必修・選択	必修	単位数	各1
科目英語名	Small group medical seminar		

1. 授業の概要及び位置づけ

必修選択の科目であり、各科目10名前後の少人数教育を行う。自らが特に学習したい分野を選択し、その分野についてコアとなる教科内容を越えて特定の内容を深く掘り下げる学習を行う。当該分野の医学・科学に対する探求心・問題解決能力の育成と、より深い理解を目指す。少人数で担当教員との双方向性の授業を行うことにより教員と親しく交流すると共に、1年次から4年次まで学年間の壁を越えて共に学ぶ環境を提供する。

2. 授業到達目標

各担当教員による。

3. 授業内容（講義・実習項目）

各担当教員による。

4. 教科書・教材・参考書

各担当教員による。

5. 成績評価の方法・基準等

各担当教員により、ゼミへの出席状況、取り組み等により総合的に評価する。

6. 事前・事後学修の内容

各担当教員による

7. 教員名

柳原 克紀（臨床検査医学）

8. 備考

授業科目の選択方法

- 各開講科目について、教育目標、授業内容、担当教員、開講場所、開講時間帯等を公示する。
- 各学年開始前に、前期・後期別に受講希望科目を学務係に提出する（第3希望まで）。
- 第1希望を優先し、各科目へ学生の割り振りを行う。

1、2年次前期・後期、3年次前期、4年次前期に開講する。3年次への進級には2年次で1単位以上、4年次への進級には3年次までに2単位以上、5年次への進級には4年次までに3単位以上修得する必要がある。卒業のための最低修得単位数は3単位である。

9. ディプロマポリシー（レベルマトリクス）との対応

I. 倫理観とプロフェッショナルリズム	C
II. 医学・医療に関する知識	D
III. 医療の実践	D
IV. コミュニケーション技能	E
V. 地域医療・社会医学	E
VI. 科学的探究	E

医学英語Ⅲ

責任者	氏名（教室）	隈上 麻衣（言語教育研究センター）		
	電話番号	095-819-2172	e-mail	mkumagami@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	火・水 13:00-17:00 ※事前アポイントを要する		

対象年次・学期	3年次・後期	講義形態	講義
必修・選択	必修	単位数	1
科目英語名	Medical English Ⅲ		

1. 授業の概要及び位置づけ

本授業は対面とeラーニング学習のハイブリッド授業です。eラーニング学習では、器官別のMedical Terminologyを医学英単語の構造から学び、医学英語Ⅱ・Ⅲ・Ⅳで全器官を網羅します。また、医学英語論文の講読・要約を通し、医学研究に必要な基礎知識を学習します。対面授業では、医療面接を想定し、これまで学習した医学用語を日常語に置き換え分かりやすく説明する練習を行います。加えて、英語インタビューで有用な表現を学びます。最終的に、様々なケースを取り上げ、英語で適切にインタビューを進行する表現力を養っていきます。

【Medical Terminology】

・医学英単語の成り立ち ・図解と名称 ・発音聴き取り ・日常語への置き換え 他

【医学英語論文】

・医学英文法 ・論文の種類と構成 ・疾病の基本知識 ・研究成果の読み取り ・要約他

2. 授業到達目標

医学英単語の語彙力を身に付けるとともに、医学英語論文の講読・要約を通し、医学研究に必要な基礎知識を修得することを目標とします。

3. 授業内容（講義・実習項目）

対面授業8回、web学習7回の全15回で行います。

4. 教科書・教材・参考書

eラーニング教材を用います。詳細は初回授業時に説明します。

5. 成績評価の方法・基準等

授業への参加状況、eラーニングの受講状況、終了テストの結果を総合的に判断します。

6. 事前・事後学修の内容

eラーニングの受講は計画的に行うこと。

7. 教員名

隈上 麻衣（言語教育研究センター）

8. 備考

特になし

9. ディプロマポリシー（レベルマトリクス）との対応

I. 倫理観とプロフェッショナリズム	F
II. 医学・医療に関する知識	F
III. 医療の実践	F
IV. コミュニケーション技能	E
V. 地域医療・社会医学	F
VI. 科学的探究	F

医学英語Ⅲ

(3年次・後期)

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座、教員	教室
9	20	水	7	オリエンテーション	授業概要説明	限上	3講
				Web1 Med. Terminology (1) 神経系	・図解と名称 ・医学用語の部品 ・医学用語の定義 ・日常語と専門用語 ・正解選択	—	自宅学習
9	27	水	7	対面授業1	医学用語の説明、日常語への置き換え、医学用語を用いた会話練習	限上	3講
				Web2 医学英語論文(1) (Review Article)	・Review Articleとは ・子供の肥満、有病率と予防	—	自宅学習
10	4	水	7	対面授業2	医学用語の説明、日常語への置き換え、医学用語を用いた会話練習	限上	3講
				Web3 医学英語論文(1) (Review Article)	・Review Articleとは ・子供の肥満、有病率と予防	—	自宅学習
10	11	水	7	対面授業3	面接での英語表現、医学用語を用いた会話練習	限上	4講
				Web4Med. Terminology(2) 血液/リンパ系	・図解と名称 ・医学用語の部品 ・医学用語の定義 ・正解選択	—	自宅学習
10	18	水	7	対面授業4	面接での英語表現、医学用語を用いた会話練習	限上	3講
				Web5 医学英語論文(2) (Original Article-1)	Swedish snusによる二重盲検によるプラセボを使った減煙・禁煙のためのランダム化比較臨床試験	—	自宅学習
10	25	水	7	対面授業5	医療面接、ロールプレイ	限上	4講
				Web6 医学英語論文(2) (Original Article-1)	Swedish snusによる二重盲検によるプラセボを使った減煙・禁煙のためのランダム化比較臨床試験	—	自宅学習
11	8	水	7	対面授業6	医療面接、ロールプレイ	限上	4講
				Web7Med. Terminology(3) 泌尿器系/生殖器(男性)/生殖器(女性)	・図解と名称 ・医学用語の定義 ・正解選択	—	自宅学習
11	22	水	7	対面授業7	まとめ	限上	4講
				試験	終了テスト(web) 医学語彙：20分、医学論文：30分	—	